官報　第六千八百八十三號　明治三十九年六月十一日　月曜日　印刷局

○勅令

朕陸軍編修官官制改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十九年六月九日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

陸軍大臣　寺内正毅

勅令第百四十三號

陸軍編修官官制

第一條　陸軍ニ於ケル圖書ノ編纂及翻譯ニ從事セシムル爲陸軍編修官ヲ置ク

第二條　陸軍編修官ヲ分テ陸軍編修及陸軍編修書記トス

第三條　陸軍編修ハ奏任、陸軍編修書記ハ判任トス

第四條　陸軍編修及陸軍編修書記ハ各上官ノ命ヲ承ケ事務ニ服ス

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十九年六月九日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

陸軍大臣　寺内正毅

勅令第百四十四號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

文武高等官官等表中陸軍省ノ部四等ノ欄「陸軍教授」ノ次ニ「陸軍編修」ヲ加フ

高等文官等相當俸給表中「陸軍編修」ヲ削ル

朕陸軍所屬特別文官俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十九年六月九日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

陸軍大臣　寺内正毅

勅令第百四十五號

陸軍所屬特別文官俸給令中左ノ通改正ス

第一表中「陸軍編修」ヲ削リ陸軍教授ノ區畫ノ次ニ左ノ如ク加フ

陸軍編修	二千圓	千八百圓	千六百圓	千四百圓	千二百圓	千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓	五百圓	四百圓

本文 6883 号

第6883号 本文

附則

本令施行ノ際別ニ辭令書ヲ交付セラレサル者ハ現ニ受クル俸給額ニ相當スル等級俸ヲ受クルモノトス

朕海軍給與令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十九年六月九日

海軍大臣 齋藤實

勅令第百四十六號

海軍給與令中左ノ通改正ス

第三表ヲ左ノ如ク改ム

第三表 外國在勤加俸表

		年額 英露米佛	年額 獨墺伊	年額 清
大使館附及公使館附	將官	八千百圓	七千七百圓	三千七百圓
	上長官	六千四百圓	五千九百圓	二千七百圓
	士官	五千五百圓	五千百圓	二千四百圓
駐在	上長官士官准士官	四千圓以內	三千五百圓以內	二千四百圓以內

一 清國公使館附ニシテ特ニ天津勤務ヲ命セラレタル將官ニハ年額千二百二十圓以內上長官及士官ニハ年額千二十圓以內ヲ增給スルコトヲ得

二 前項ニ掲クル者ヲ除クノ外清國公使館附ノ將官ニハ年額八百圓以內、上長官及士官ニハ年額六百圓以內ヲ增給スルコトヲ得

三 韓國駐在ノ者ニハ清國ノ額ヲ給ス

朕臘虎膃肭獸保護ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十九年六月九日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望

農商務大臣 松岡康毅

勅令第百四十七號

農商務大臣ハ臘虎膃肭獸保護ノ爲必要アリト認ムルトキハ免許獵業者ニ對シ禁獵區及禁獵期ヲ指定シ其ノ他臘虎膃肭獸獵法第二條ニ揭クル制限禁止ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○省令

文部省令第十號

京都帝國大學文科大學ハ本年九月十一日ヨリ開設シ哲學科、史學科及文學科ヲ置ク

明治三十九年六月十一日 文部大臣 牧野伸顯

○告示

司法省告示第二十一號

佐賀地方裁判所管內武雄區裁判所下宿出張所ニ備ヘアリシ明治三十三年十月十五日受附第二一五七號宮崎福藏宮崎爲吉間ノ土地所有權移轉登記申請書一通滅失シタリ

明治三十九年六月十一日 司法大臣 松田正久

文部省告示第百三十一號

福井縣南條郡武生町ニ徒弟學校規程ニ依リ武生町立武生女子實業學校ヲ設置シ明治三十九年六月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十九年六月十一日 文部大臣 牧野伸顯

文部省告示第百三十二號

明治三十九年第二回定期醫術開業試驗施行ノ地及期日等左ノ通リ定ム

明治三十九年六月十一日 文部大臣 牧野伸顯

一 試驗施行ノ地

前期試驗	地方廳所在地
後期學說試驗	同上
齒科學說試驗	同上
後期實地試驗	東京、大阪、仙臺、熊本
齒科實地試驗	東京、大阪

二 試驗期日 明治三十九年九月三日ヨリ開始ス

前期試驗、後期學說試驗、齒科學說試驗ノ日割及後期實地試驗、齒科實地試驗ヲ受クヘキ者ノ氏名及受驗日時ハ委員長之ヲ公告ス

三 願書提出方

後期試驗及齒科試驗出願者ニシテ學說試驗竝實地試驗ヲ受ケントスル者ハ其願書ニ學說試驗ヲ受ケントスル地ノ外實地試驗ヲ受ケントスル地ヲモ記載シ學說試驗ヲ受ケントスル地ノ地方廳ニ差出スヘシ

四 受驗地ノ變更

願書提出後止ムヲ得サル事故ニ依リ受驗地ヲ變更セントスル者ハ七月末日迄ニ曩ニ試驗願書ヲ提出シタル地方廳ニ其申告ヲ爲シタル者ニ限リ之ヲ許可ス

文部省告示第百三十三號

明治三十九年第二回藥劑師試驗施行ノ地及期日等左ノ通リ定ム

明治三十九年六月十一日 文部大臣 牧野伸顯

一 試驗施行ノ地

學說試驗	地方廳所在地
實地試驗	東京、大阪

二 試驗期日 明治三十九年九月六日ヨリ開始ス

學說試驗ノ日割及實地試驗ヲ受クヘキ者ノ氏名及受驗日時ハ委員長之ヲ公告ス

三 願書提出方

試驗出願者ニシテ學說試驗竝實地試驗ヲ受ケントスル者ハ其願書ニ學說試驗ヲ受ケントスル地ノ外實地試驗ヲ受ケントスル地ヲモ記載シ學說試驗ヲ受ケントスル地ノ地方廳ニ差出スヘシ

四 受驗地ノ變更

願書提出後止ムヲ得サル事故ニ依リ受驗地ヲ變更セントスル者ハ七月末日迄ニ曩ニ試驗願書ヲ提出シタル地方廳ニ其申告ヲ爲シタル者ニ限リ之ヲ許可ス

農商務省告示第百七十五號

既設山口縣農會ハ農會令第六條第二項ノ條件ヲ具備スル旨明治三十九年五月三十日附ニテ屆出タリ

明治三十九年六月十一日 農商務大臣 松岡康毅

農商務省告示第百七十六號

既設茨城縣農會ハ農會令第六條第二項ノ條件ヲ具備スル旨明治三十九年二月二十七日附ニテ屆出タリ

明治三十九年六月十一日 農商務大臣 松岡康毅

農商務省告示第百七十七號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十九年六月十一日 農商務大臣 松岡康毅

國	郡	村	大字	字	地番	面積	所有者
越後	岩船	八幡	勝木	箱堅山	一四一乙	一、二六二	國
同	古志	長岡	藏王	前野	二三一乙	一、三二六五	同
同	同	同	同	同	二三一丙	一、三二六五	同

農商務省告示第百七十八號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治三十九年六月十一日 農商務大臣 松岡康毅

國	郡	町村	大字	字	地番	地目	臺帳面積 實測面積	所有者	申請者
越後	古志	六日市	六日市	外ノ鑵	二一九〇ノ二	山林	一、九一八ノ內 一、四〇五	細貝儀太郎	高野源二郎外六名
同	南魚沼	三國	淺貝	三國山	四八五	同	三、八〇〇、〇〇〇ノ內 六二、九五一二	國	
同	同	同	同	河內山	四八三	同	二、二〇〇、〇〇〇ノ內 三、一一〇二	同	
同	同	三俣	三俣	細越	一四一	同	、〇三一五ノ內 二、二七一九	山崇彌治郎	
同	同	同	同	同	一三一	同	、一一二〇ノ內 八九〇七	關三茂里	
同	中魚沼	十日町	十日町	念珠	長乙三一ノ二	官用地	、一一一五	國	十日町長代理 片岡義雄

農商務省告示第百七十九號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十九年六月十一日 農商務大臣 松岡康毅

國	郡	町村	大字	字	地番	面積	所有者	申請者
越後	北魚沼	藪生	藪生	前山	甲三九一	六、三五〇〇	極樂寺	極樂寺住職 大塚春澄外四名
同	中頸城	吉川	赤澤	寺山	二五五	七、三六二四	雲門寺	雲門寺住職 小池龍玄外五名
同	同	同	同	同	二六一	、一〇〇〇	同	同
同	同	同	同	同	二六二	、二七〇〇	同	同
佐渡	佐渡	新穗	潟上	宮添	乙二五二七	、一四一四	御料	
同	同	同	同	同	乙二五二八ノ一	、二一一七	同	

遞信省告示第二百四十四號

明治三十八年四遞信省告示第百七十四號別表第二號表ニ指定スル通信官署中京橋郵便局ヲ削除ス

明治三十九年六月十一日　遞信大臣　山縣伊三郎

遞信省告示第二百四十五號

本年夏季中東海道線舞坂鷲津間ニ辨天島停車場ヲ置キ旅客ノ取扱ヲ開始ス旅客賃金及哩程左ノ通

但辨天島停車場ノ開閉ハ關係停車場ニ掲示ス

明治三十九年六月十一日　遞信大臣　山縣伊三郎

旅客賃金

驛名	等級	舞坂	鷲津
辨天島	二等	〇〇六	〇一三
	三等	〇〇三	〇〇七

一等賃金ハ三等賃金ノ二倍トス

哩程

舞坂	辨天島間	一哩五	辨天島	鷲津間	四哩二

（べんてんじま）

正誤

本月八日遞信省告示第二百三十八號初行「二十四年」ハ「二百七十六號ハ「五百一號」同五行「驛民區間」ハ「但書ノ外ヲ誤同四行「但書ノ」ノ字及條ノ井線ノ上「ト」ノ字ハ外ヲ脫ス

線ノ三字同五行條ノ井線ノ上下ニ各「ト」ノ字ヲ外モ脫ス

遞信省參事官

○敍任及辭令

○明治三十九年六月九日

陸軍高等官二等　東京帝國大學醫科大學教授從五位醫學博士　入澤達吉

任大使館二等書記官　公使館二等書記官從六位勳五等　鄧永邦

敍高等官五等

清國駐箚被免　特命全權公使　内田康哉

清國駐箚被仰付　特命全權公使　林權助

依願免本官（以上六月九日内閣）　靜岡縣技師　安藤安

栃木縣那須郡長　雨宮克

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス（九日内務省）

神戸稅關監査課長ヲ免ス　稅關事務官　藤原正文

神戸稅關監査課長ヲ命ス（以上六月九日大藏省）　稅關事務官　河田貫三

熊本縣飽託郡池上村大字高橋四百五十四番地　大竹コト

故陸軍輜重兵少尉大竹才次郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金千百圓ヲ賜フ

正誤

本月八日遞信省告示第二百三十八號初行「二十四年」ハ「二百七十六號ハ「五百一號」同五行「驛民區間」ハ「但書ノ外ヲ誤同四行「但書ノ」ノ字及條ノ井線ノ上「ト」ノ字ヲ外モ脫ス

線ノ三字同五行條ノ井線ノ上下ニ各「ト」ノ字ヲ外モ脫ス　遞信省參事官

故陸軍歩兵上等兵伊東忠次明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金五百貳拾圓ヲ賜フ　高知縣吾川郡清水村三十七番屋敷　伊東久吾

三重縣三重郡富田村大字茂福八十一番屋敷　眞田治右衞門

故陸軍歩兵上等兵眞田嘉六明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金五百貳拾圓ヲ賜フ　群馬縣勢多郡木瀨村大字下大島村六番地　關口瀧次郎

故陸軍歩兵一等卒關口武平次明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　宮城縣柴田郡大河原町大字大河原六十番地　高橋長之助

故陸軍歩兵一等卒高橋勝三明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　山梨縣北都留郡七保村五百九十三番戸　鈴木うめ

故陸軍歩兵一等卒鈴木千代造明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　秋田縣平鹿郡横手町上根岸町十八番地　橋本三治

故陸軍歩兵一等卒橋本熊吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　兵庫縣神崎郡田原村ノ内西田原二十番屋敷　古河幸吉

故陸軍歩兵一等卒古河豐吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　愛媛縣越智郡下朝倉村大字古谷甲千七百五十三番地　越智モン

故陸軍歩兵一等卒越智又助明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　福岡縣築上郡八津田村大字西八田二千二百六十八番地　高橋岩吉

故陸軍騎兵一等卒高橋四十吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　熊本縣阿蘇郡内牧村大字湯浦四百九十三番地　野上カガ

故陸軍工兵一等卒野上嘉惣明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　大阪府西成郡中津村大字光立寺四百五番地　北風ツル

故陸軍輜重輸卒北風傳彌明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百四拾圓ヲ賜フ　富山縣上新川郡上瀧町大字中瀧村百二十五番地　寺島庄三郎

故陸軍歩兵上等兵寺島久治明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金五百貳拾圓ヲ賜フ　靜岡縣駿東郡淨島村石川四十八番地　栗田ふゆ

故陸軍騎兵上等兵栗田直藏明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金五百貳拾圓ヲ賜フ　岐阜縣養老郡多良村大字下多良十五番戸　山口多兵衞

故陸軍歩兵二等卒山口市治郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百四拾圓ヲ賜フ

故陸軍歩兵一等卒福木藤助明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ　岐阜縣大野郡高山町大字川西七百四十番地　福木せい

故陸軍歩兵少尉菱田榮和明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金五百五拾圓ヲ賜フ　岐阜縣海津郡東江村大字駒ヶ江六番戸　菱田たつの

故陸軍歩兵一等卒小栗林三郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百圓ヲ賜フ　岐阜縣土岐郡日吉村七百九十三番戸　小栗かま

故陸軍歩兵一等卒古屋爲助明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ　岐阜縣加茂郡蘇原村赤河百五十二番戸　纐纈あみ

故陸軍輜重輸卒纐纈友十明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　岐阜縣稻葉郡日野村四十八番戸ノ一　酒井藤吉

故陸軍輜重輸卒酒井喜代松明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　石川縣石川郡笠間村字北島タ三十六番地　野川吉松

故陸軍輜重輸卒野川常吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　福井縣南條郡王子保村白崎二十九號七番地　藤井五兵衞

故陸軍輜重輸卒藤井竹次郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　富山縣婦負郡卯花村大字掛畑村千六百七番地　今川小平

故陸軍砲兵輸卒今川林次郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　岐阜縣安八郡名森村大字森部二百五十番戸　岩田丈八

故陸軍砲兵輸卒岩田丈作明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　農手縣東磐井郡生母村母躰三番戸　千葉マサヨ

故陸軍歩兵上等兵千葉長松明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百參拾圓ヲ賜フ

岐阜縣海津郡城山村大字庭田千百二十九番地二　高木　ちの
故陸軍歩兵一等卒高木三五郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ
福岡縣朝倉郡三根村大字三牟田八十四番地　金子　梅吉
故陸軍歩兵二等卒金子吉兵衞明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
兵庫縣氷上郡大路村之内下三井庄村四十八番屋敷　畑　彌太郎
故陸軍歩兵二等卒畑文吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
宮城縣宮城郡鹽釜町字町六十八番地　奥山しゅん
故陸軍歩兵二等卒奥山舛五郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
島根縣簸川郡杵築町大字杵築南千十四番地　小村　登米
故陸軍歩兵二等卒小村才明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
岐阜縣大野郡高山町大字空町三千四百六番戸　天木忠兵衞
故陸軍歩兵二等卒天木善一郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
茨城縣多賀郡高岡村大字中戸川六百三番地　菊地　酉松
故陸軍砲兵二等卒菊地潔明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
鹿兒島縣始良郡東國分村小四十五番戸　宮永　クミ
故陸軍輜重輸卒宮永與太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ
群馬縣碓氷郡八幡村大字八幡村甲四十九番地　小林　淺吉
故陸軍輜重輸卒小林榮二明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ（以上六月八日陸軍省）

下關要塞砲兵聯隊中隊長陸軍砲兵大尉　窪田　秀一
免本職東京砲兵工廠附被仰付
陸軍砲兵大尉　伊吹　晴堅
野戰砲兵第六聯隊附被免東京陸軍兵器支廠附被仰付
東京陸軍兵器支廠附陸軍砲兵大尉　伊吹　晴堅
東京陸軍兵器支廠習志野假兵器庫ニ在テ服務スヘシ
陸軍一等軍醫　松倉　茂
退役被仰付（以上六月九日同）
海軍軍醫中監　岡　柳平
休職被仰付
（各通）
鈴木　犀儞
秀島　長吉
海軍豫備少尉候補生ヲ命ス
松尾　喜一
和田秀太郎
内田　健治
（各通）
松森健次郎
海軍豫備機關少尉候補生ヲ命ス（以上六月九日海軍省）

浦和地方裁判所判事　櫻根誠之進
兼補浦和區裁判所判事
豫備檢事（千葉地方）　後藤　祐明
千葉區裁判所檢事局詰ヲ命ス

東京地方裁判所判事判事　辻　武雄
大阪區裁判所判事判事　山口　貞昌
大阪區裁判所判事判事　大知新太郎
宇和島區裁判所判事判事　黒瀬　亮一
安濃津地方裁判所判事判事　渡邊　鈴衞
山形地方裁判所判事判事　内藤諒太郎
和歌山地方裁判所判事判事　梅影　馨
岡山區裁判所判事判事　堀越　充三
（各通）
山口地方裁判所判事判事　勝井　喜藏
千葉區裁判所判事判事　山森　平成
大阪區裁判所判事判事　寺川　三藏
金澤區裁判所判事判事　北本　欽吉
大津地方裁判所判事判事　森　章三郎
東京區裁判所判事判事　加福　豐次
東京地方裁判所判事判事　長谷川道也
東京地方裁判所判事判事　細谷　朝次
岡崎區裁判所判事判事　境　長三郎
九級俸下賜

東京區裁判所檢事檢事　三橋市太郎
廣島地方裁判所檢事檢事　井前　正
上野區裁判所檢事檢事　伊東　剛太
札幌地方裁判所檢事檢事　河井　常吉
（各通）
岡山地方裁判所檢事檢事　中島　織三
東京地方裁判所檢事檢事　清水　孝藏
大阪區裁判所檢事檢事　片山　三郎
佐世保區裁判所檢事檢事　光行　次郎
名古屋地方裁判所檢事檢事　齋藤　禮三
九級俸下賜

名和　剛
司法官試補ヲ命ス
司法官試補　名和　剛
東京地方裁判所及同檢事局竝東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ（以上六月九日司法省）

農商務技師　西川　勝藏
第三回中國五縣聯合畜産共進會審査長トシテ鳥取縣ヘ出張ヲ命ス（六月九日農商務省）

巖手縣立遠野中學校敎諭　錦織房之助
十一級俸下賜（六月二日巖手縣）

○彙報

○官廳事項

○佛國公使館錄事任命　佛國副領事ニコール（Nicault）ハ本年四月一日以來錄事トシテ在本邦同國公使館ノ事務ニ從事セシ旨同國公使ヨリ同二十七日附ヲ以テ外務省ヘ通知アリ

○露國陸軍派出員附武官來着　露國陸軍派出員附トシテ砲兵中尉トローザコワフ差遣セラレタル旨同國公使ヨリ本年四月二十七日附ヲ以テ外務省ヘ通知アリ

○獨國大使賜暇歸國　本邦駐箚獨逸國特命全權大使男爵ムム、フォン、シュワルツェンスタイン本月五日賜暇歸國スヘキニ付キ同大使館參事官フォン、エルケルト代理大使トシテ館務ヲ處辨スヘキ旨同全權大使ヨリ同四日附ヲ以テ外務省ヘ通知アリ

○伯國公使歸國　本邦駐箚伯剌西爾國辨理公使ペレイラ一昨九日轉任歸國スヘキニ付キ同國公使館書記官ルイス、ギマラエス代理公使トシテ館務處辨スヘキ旨同辨理公使ヨリ本月六日附ヲ以テ外務省ヘ通知アリ

○官吏發著　曩ニ東京地方ヘ出張ノ沖原第十五師團長ハ本月二日、歩兵第二十四聯隊及歩兵第四十六聯隊第二期檢閲視察ノタメ大村福岡地方ヘ出張ノ島村歩兵第十二旅團長ハ同三日孰モ歸著●第七師團參謀長吉田平太郎ハ教育視察ノタメ札幌郡月寒地方ニ向ヒ、吉田歩兵第十三旅團長ハ歩兵第二十五聯隊第二期檢閲實視ノタメ月寒ニ向ヒ同六日孰モ出發セリ
安藤愛媛縣知事ハ本月八日上京セリ

○官吏死去　鐵道技師正六位勳六等吉山啓介ハ本月五日死去セリ

判決

○關税訴願裁決　關税賦課ニ關スル訴願ニ對シ本月四日大藏大臣ハ左ノ如ク裁決セリ

第一四號

鋼棒ノ關税賦課ニ關スル訴願裁決書

兵庫縣神戸市播磨町四十六番屋敷
セール、フレザー株式會社取締役
訴願人　ビッアン、エム、セール

訴願人陳述ノ要旨ハ
訴願人カ汽船「ペナーチー」號ニテ輸入セル鋼棒百三十九束ハ明治三十八年六月二十三日製産原地證明書ヲ添附シテ輸入申告ヲ爲シタルニ神戸税關長ハ輸入税表第二百四十一號ニ依リ課税セラレタルヲ以テ訴願人ハ之ヲ不當トシ關税法第六十一條ニ依リ異議ノ申立ヲ爲シタルモ遂ニ不成立ノ判定ヲ受ケタルヲ以テ更ニ同法第六十八條ニ依リ茲ニ訴願ヲ提起セリ訴願人ニ於テハ該品ハ輸入税表第二百十七號ニ相當スヘキモノト信ス即チ該品ハ「シーメンス、マーチン」式ニ依リ精製シ比較的多量ノ炭素ヲ含有セル良質ノ軟鋼ニシテ價格ニ於テハ上等鐵ニ近ク其ノ品類ハ日英追加條約附屬税目ニ於テ「本税目ノ軟鋼トハ「シーメンス」「ベッセマー」「ベージック」若ハ之ニ類スル方法ヲ以テ製シ其ノ價格本税目中ノ同項目ニ在ル鐵ニ近キ軟鋼ヲ謂フナリ」トアルニ相當スルモノナリ而シテ輸入税表第二百四十一號ハ坩堝ニテ製造セラレタル眞正ノ鋼ヲ指スモノナレハ訴願人カ訴願ノ理由トスル處明瞭ナリトス若シ該品カ「シーメンス」式或ハ同種ノ製法ニヨリ製造セラレタル事實ノ證明書ヲ製造者ヨリ得ヘキ必要アレハ相當ノ時日內ニ提出スヘキナリ上記ノ理由ナルヲ以テ神戸税關長ノ判決ヲ取消シ輸入税表第二百十七號ニ依リ課税セラルヘキ様裁決アランコトヲ請フト謂フニ在リ

神戸税關長辯明ノ要旨ハ
訴願人ハ本品ハ「シーメンス、マーチン」式ニ依リ精製シ比較的多量ノ炭素ヲ含有セル軟鋼ニシテ價格モ上等鐵ニ近キモノナルヲ以テ日英追加條約附屬税目ニ於テ「本税目ノ軟鋼トハ「シーメンス」「ベッセマー」「ベージック」若ハ之ニ類スル方法ヲ以テ製シ其價格本税目中ノ同項目ニアル鐵ニ近キ軟鋼ヲ謂フ」トアルニ相當シ且ツ輸入税表第二百四十一號ニ掲クル條、竿及板トハ坩堝ニテ製セラレタル眞正ノ鋼ヲ指スモノナルカ故ニ本品ハ硬鋼棒ニアラス軟鋼棒トシテ同税表第二百十七號ニ分類セラルヘキモノナリト主張スト雖元來軟鋼ト硬鋼トノ區別ハ其ノ製造法ノ如何ニ依リテ直ニ區別シ得ヘキモノニアラス何ントナレハ「シーメンス」「ベッセマー」式若ハ之ニ類スル方法ヲ以テ製造セルモノ必スシモ皆軟鋼ニアラス又硬鋼ハ必スシモ坩堝製ニ限ラレタルモノニ非サレハナリ而シテ關税定率法附屬輸入税表及日英追加條約附屬税目ニ在リテモ「シーメンス」「ベッセマー」式若ハ之ニ類スル方法ヲ以テ製造シタルモノハ悉ク軟鋼ナリト謂フニ非サルヤ明カナリトス故ニ該品カ税目分類上ニ於ケル硬鋼ナルカ將又軟鋼ナルカハ品質ノ鑑識ヲ待テ始メテ決定セラルヘキモノナリ仍テ本品ニ對シ碎堅法ヲ施シ其ノ品質ヲ檢シタルニ白熱ヨリ赤熱ニ至ル部分ハ硬固ニ且ツ脆弱性トナリ毫モ撓屈スルコトナク直ニ破碎シ其破截面ハ孰レモ粒狀ヲ呈シ適當ノ熱度ニ於ケル部分ハ緻密ニ且ツ一様ナレトモ白熱部ハ却テ粗狀ヲ爲シ全ク軟鋼ニアラサル反證ヲ呈シ其ノ硬度モ工業用ノ刃物ニ適スルヲ以テ本品ハ硬鋼ニシテ軟鋼ニ非サルハ明白ニシテ訴願人ノ主張ハ理由ナキモノトス仍テ本官カ本品ヲ硬鋼棒ト認メ輸入税表第二百四十一號ニ分類シ製産原地證明書ヲ添附セルヲ以テ同號ニ對スル協定税率從價七分五厘ヲ賦課シタルハ至當ノ處分ナリト謂フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ文書標本竝ニ關税訴願審査委員會ノ審査報告ヲ査閲シ審理ヲ遂クル處訴願人ハ本訴願ニ係ル物品ハ「シーメンス、マーチン」式ニ依リテ製造セラレタル軟鋼棒ナルヲ以テ輸入税表第二百十七號ニ依リ課税セラルヘキモノナリト主張スト雖其ノ提供セル標本ニ就キ施行シタル機械的及化學的試驗ノ結果ニ依レハ本品ハ鋼ト認ムヘキモノナリ依テ神戸税關長カ本品ニ對シ輸入税表第二百四十一號ニ對スル協定税率ニ依リ從價七分五厘ノ關税ヲ賦課シタルハ至當ノ處分ナリトス

仍テ裁決スルコト左ノ如シ
訴願人ノ請求相立タス

明治三十九年六月四日
大藏大臣　法學博士阪谷芳郎

警察

○豫戒命令執行　北海道廳外二縣ニ於テ左ノ通豫戒命令ヲ執行セリ

札幌區南五條西三丁目十一番地、當時同區南七條西一丁目中島遊園地十四番地平民無職業　我妻　樵　明治十七年五月十二日生
豫戒令第一條第一號第三號ニ該當スルヲ以テ同令第二條第一號第二號第三號ヲ命令ス（本月四日）

長崎縣長崎市高野平郷六十三番地平民、同縣同市小島四百九十三番戸住無職　渡邊　順太郎　元治元年四月四日生
豫戒令第一條第一號ノ該當者トシテ同令第二條第一、第三號ヲ命令ス（同上）

栃木縣安蘇郡旗川村大字小中百六十番地一號平民農　田中　正造　天保十二年十二月生
豫戒令第一條第三號第四號ニ該當スルヲ以テ同令第二條第二號第三號第四號ノ事項ヲ命令ス（本月八日）

○出火　北海道及巖手縣ニ於ケル出火左ノ如シ

北海道　去月二十五日午後二時三十分膽振國虻田郡虻田村ヨリ出火民家一戸燒失、燒死一同三時鎭火同二十七日午前十時石狩國札幌郡篠路村ヨリ出火民家一戸燒失、燒死一同十時三十分鎭火原因孰モ過失ナリ

巖手縣　去月二十九日午後八時三十分巖手郡寺田村雛子ヨリ出火十一戸（十七棟）全燒、土藏四棟半燒同三十日午前六時鎭火セリ

第6883号 本文

○陸海軍

○戰地其他死亡者

戰地其他ニ於ケル陸軍軍人軍屬ノ死亡者左ノ如シ（陸軍省）

三十八年

三月一日清國盛京省李家窩棚ニ於テ戰死
島根縣飯石郡東須佐村大字朝原八十番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　和久利太左衛門
島根縣八束郡川津村大字東川津十九番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　矢野　定市
島根縣大原郡日登村大字西日登千二百九十番地平民　陸軍歩兵二等卒　星野　林市
廣島縣比婆郡下高野山村高暮居住ナシ平民　陸軍輜重輸卒　黒谷　幸太郎
廣島縣雙三郡作木村大字大津八番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　水本　竹市
島根縣簸川郡稗原村大字稗原三百十八番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　西尾　乙三郎
同二日清國盛京省奉天附近ニ於テ戰死
岡山縣淺口郡玉島町字上成千二百三十番地平民　陸軍歩兵二等卒　瀧本　錬次
同六日清國盛京省奉天附近ニ於テ戰死
廣島縣蘆品郡福相村字福田九十六番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　岡本　次三郎
同日清國盛京省二臺子附近ニ於テ戰死
島根縣邑智郡日貫村三百五十三番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　大岡　國市
島根縣邑智郡阿須那村大字宇都井四十六番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　伊達　保市
島根縣邑智郡祖式村大字祖式二百二十二番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　水本　帝二
島根縣周吉郡中條村大字原田百六十七番次二番屋敷士族　陸軍歩兵軍曹　酒井　信行
島根縣邑智郡川下村百四十二番屋敷平民　陸軍歩兵伍長　佐々木熊治郎
島根縣邑智郡出羽村大字久喜三十番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　高橋　玄策
島根縣邇摩郡福光村百七十九番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　熊谷　長吉
廣島縣比婆郡八鉾村大字三坂十七番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　柳生　鼎一
島根縣松江市南田一番地ノ内第六平民　陸軍歩兵上等兵　加藤　德一郎
島根縣八束郡御津村百三十六番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　門田　喜一
島根縣簸川郡遙堪村大字入南二十三番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　金築　傳太郎
廣島縣比婆郡帝釋村大字末渡九十四番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　宮崎　清三郎
島根縣飯石郡一宮村大字古城二百番地平民　陸軍歩兵一等卒　加村　米五郎
島根縣鹿足郡藏木村大字田野原百三十七番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　安村　信太郎
山口縣阿武郡小川村六百四十五番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　椿　百吉
島根縣那賀郡高城村大字門田二番地平民　陸軍歩兵一等卒　上田　粂太
島根縣美濃郡二條村大字愛榮二百二十番地平民　陸軍歩兵一等卒　安永　労太郎
島根縣那賀郡西隅村大字河内二百五十五番地平民　陸軍歩兵特務曹長　杖田　三平
廣島縣比婆郡小奴可村大字千鳥六百十三番地平民　陸軍歩兵一等卒　名越　種右衛門
島根縣松江市白潟魚町十三番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　森脇　觀次郎
同八日清國盛京省沙坨子附近ニ於テ戰死
廣島縣雙三郡布野村大字上布野百四十五番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　福田　勘市
同九日清國盛京省沙坨子附近ニ於テ戰死
愛媛縣松山市南歩行町五番戸士族　陸軍歩兵大尉　戒田　精
島根縣邑智郡日貫村千二百七十番地平民　陸軍歩兵上等兵　小笠原　龜市
廣島縣比婆郡帝釋村大字始終二十六番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　木村　唯右衛門
島根縣那賀郡渡津村二十六番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　宝北　善吉
島根縣簸川郡檜山村大字多久谷十四番地平民　陸軍歩兵一等卒　田中　友一
島根縣邑智郡君谷村大字小林二十七番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　原田　淺吉
廣島縣雙三郡君田村大字西入君三十七番屋敷平民　陸軍歩兵軍曹　穗登原　鶴市
廣島縣雙三郡板木村大字上板木七十八番屋敷平民　陸軍歩兵軍曹　森長　壽郎吉
廣島縣雙三郡作木村大字大島十五番地平民　陸軍歩兵上等兵　澤田　寛介
島根縣鹿足郡日原村大字瀧元八十四番地平民　陸軍歩兵上等兵　阿川　岩次
島根縣簸川郡西濱村大字大池百十九番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　三原　長之助
山口縣熊毛郡岩田村八十五番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　山崎　安治郎
島根縣飯石郡吉田村大字吉田三百三十三番地平民　陸軍歩兵上等兵　渡部　万五郎
山口縣熊毛郡田布施村大字下田布施百二十四番地平民　陸軍歩兵一等卒　平田　梅吉
島根縣松江市寺町四十番屋敷平民　陸軍歩兵軍曹　平山　猶三郎
廣島縣比婆郡口比村大字宮内十六番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　熊原　保右衛門
島根縣邑智郡市木村四百二十九番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　佐々木　玉市
島根縣那賀郡長安村大字稲代十七番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　岡本　惠一
島根縣飯石郡吉田村大字民谷百九十一番地平民　陸軍歩兵上等兵　影山　慈橋
島根縣安濃郡波根西村千七百四十二番地平民　陸軍歩兵二等卒　渡邊　繁右衛門
島根縣簸川郡上津村大字船津三十五番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　妹尾　峰太郎
島根縣簸川郡川跡村大字武志二十三番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　片寄　軍之助
島根縣邑智郡阿須那村大字阿須那四十番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　光田　藤太郎
島根縣簸川郡今市町大字今市村五百八十八番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　吉村　虎市
島根縣比婆郡美古登村大字熊野六十八番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　吉田　芳太郎
島根縣簸川郡出東村大字坂田百八十八番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　藤脇　要太郎
廣島縣比婆郡比和村大字古屋原三十四番地平民　陸軍歩兵軍曹　佐々木武右衛門
廣島縣雙三郡作木村大字大津十五番地平民　陸軍歩兵一等卒　中村　甚四郎
島根縣八束郡秋鹿村大字秋鹿十二番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　吉岡　盛太郎
島根縣那賀郡井野村大字井野千七百九十一番地平民　陸軍歩兵上等兵　三浦　末市
島根縣簸川郡東村大字園村二百番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　角　福太郎
島根縣松江市和多見百三十二番地平民　陸軍歩兵上等兵　福島　傳四郎
島根縣那賀郡跡市村大字千田十番地平民　陸軍歩兵上等兵　盆子原　房市
島根縣八束郡竹矢村大字竹矢八番地平民　陸軍歩兵上等兵　岸本　壽市
島根縣邑智郡阿須那村大字戸河内二番地平民　陸軍歩兵上等兵　藤本　竹次郎
島根縣飯石郡三刀屋村字三刀屋二百十番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　古田　文四郎
島根縣鹿足郡畑迫村大字部榮二十三番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　久保　季雄
島根縣那賀郡西隅村大字河内百五十番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　松原　春次
島根縣飯石郡一宮村大字高窪三十九番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　嘉本　房太郎
島根縣鹿足郡日原村大字左鐙二十一番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　水津　盛三
島根縣能義郡島田村大字黒井田五十三番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　野田　利三識
岡山縣後月郡青野村大字青野五百四十番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　笠原　兵平
島根縣邇摩郡福浦村大字福光千二百八十七番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　吉本　多市

島根縣大原郡幡屋村大字幡屋二十八番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　石飛　金三郎
島根縣八束郡竹矢村大字竹矢百三十五番地平民　陸軍歩兵上等兵　角田　樽市
島根縣那賀郡下松山村大字八神四十七番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　石原　鶴一
島根縣邑智郡中野村二百七十三番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　香川　末市
島根縣那賀郡波佐村大字波佐百七十八番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　西林　茂七郎
同二十日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣吉敷郡下宇野令村四百八十四番地平民　陸軍歩兵一等卒　増本　國松
同二十五日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣熊毛郡島田村六十三番地平民　陸軍歩兵一等卒　田熊　伍作
同二十六日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
廣島縣豐田郡上北方村三十一番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　槇迫　熊吉
同三十一日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣佐波郡串村字串五百四十五番地平民　陸軍歩兵上等兵　山村　盛之進
四月一日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣大津郡三隅村六百八十八番地平民　陸軍歩兵一等卒　安野　利三郎
同四日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
岡山縣吉備郡生石村大字高塚二番地平民　陸軍歩兵上等兵　伊丹　長十郎
同九日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣厚狹郡小野村八百九十五番地平民　陸軍歩兵一等卒　渡邊　作之進
同十日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
岡山縣川上郡成羽村二千五百三十四番地平民　陸軍歩兵上等兵　赤迫　定太郎
同十八日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣吉敷郡秋穗村字東本郷第二第一千七十二番地平民　陸軍歩兵一等卒　上村　德七
同二十二日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ砲創ニ因リ死亡
廣島縣賀茂郡竹原町九百七十三番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　山内　德一
同二十三日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ病死
廣島縣高田郡有保村字保垣九十三番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　奥田　貞一
三月一日清國盛京省小甸子野戰病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
島根縣大原郡佐世村大字西阿用二十九番屋敷平民　陸軍歩兵曹長　岡田　祐之助
廣島縣比婆郡高村大字小用八番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　井上　康三
島根縣那賀郡松山村大字長見三十四番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　松原　重延
同三日清國盛京省古城子野戰病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
島根縣簸川郡今市町大字今市村八百十九番戸平民　陸軍歩兵二等卒　須山太右衛門
島根縣邑智郡谷住郷村大字大口四十六番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　上田　万太郎
島根縣那賀郡都治村大字後地百三十二番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　笠井　久吉
同五日清國盛京省大營盤患者療養所ニ於テ銃創ニ因リ死亡
島根縣簸川郡西濱村大字板津百二十九番屋敷平民　陸軍歩兵上等兵　石飛　啓藏
同六日清國盛京省小楡樹堡野戰病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
島根縣邑智郡矢上村三百五十七番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　砂田　正一
同日清國盛京省蘇胡堡假繃帶所ニ於テ銃創ニ因リ死亡
鹿兒島縣日置郡下伊集院村字苗代川百五十四番地士族　陸軍歩兵特務曹長　森永　玄藏
島根縣大原郡海潮村大字中湯石九十一番地平民　陸軍歩兵一等卒　藤原　幽三郎
同八日清國盛京省崔家窰野戰病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
島根縣美濃郡眞砂村大字馬谷五番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　登川　甚助
同日清國盛京省狼洞溝兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
島根縣簸川郡出西村大字阿宮百五十二番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　山田　末吉
同九日清國盛京省狼洞溝兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
廣島縣雙三郡三次町千四百七十六番地平民　陸軍歩兵一等卒　大瀧　顯助
同十日清國盛京省蘇胡堡定立病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
島根縣那賀郡西濱村字湊浦八十一番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　芝谷　市太郎
同十二日清國盛京省樹林子定立病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
島根縣那賀郡石見村大字黒川三十二番屋敷平民　陸軍歩兵一等卒　角國　松藏
同十七日清國盛京省大連兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
廣島縣雙三郡三次町百九十六番屋敷平民　陸軍歩兵伍長　佐藤　芳平
同十八日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
廣島縣尾道市久保町八百三十六番地平民　陸軍歩兵上等兵　國田　常吉
同二十一日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
島根縣那賀郡渡津村三百五十七番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　森田　末市
同二十五日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣下關市大字竹崎町三十五番地士族　陸軍歩兵大尉　山本　速水
四月十日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣玖珂郡日積村二百六十四番地平民　陸軍歩兵伍長　森脇　猶太郎
同二十二日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣大島郡家室西方村大字沖家室島四百三十八番地平民　陸軍歩兵一等卒　柳原　重助
五月五日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ銃創ニ因リ死亡
山口縣佐波郡牟禮村大字牟禮千二百十一番地平民　陸軍歩兵一等卒　高崎　友一
三月十五日清國盛京省遼陽兵站病院第一分院ニ於テ病死
福岡縣三井郡太刀洗村大字今村八百番地ノ一平民　陸軍砲兵一等卒　平田　市太郎
同十七日清國盛京省蘇胡堡定立病院ニ於テ病死
島根縣八束郡波入村大字入江百五十五番屋敷平民　陸軍歩兵伍長　吉岡　瀧市
四月九日清國盛京省崔家堡定立病院ニ於テ病死
廣島縣雙三郡君田村大字東入君百十七番屋敷平民　陸軍歩兵軍曹　藤原　常八
同十四日清國盛京省崔家堡舍營病院ニ於テ病死
島根縣仁多郡馬木村大字大馬木二百八十二番地平民　陸軍歩兵二等卒　朝山　庄之助
五月三日清國盛京省柳樹屯兵站病院ニ於テ病死
島根縣邇摩郡温泉津町五百五十五番地平民　陸軍歩兵二等卒　内田　惣市
同六日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ病死
岡山縣上房郡呰部村大字下呰部千三百十二番地平民　陸軍砲兵一等卒　山本　賢一
同九日自宅ニ於テ病死
山口縣厚狹郡出合村大字山野井二百十八番屋敷平民　陸軍歩兵二等卒　山本　順太郎
同十一日清國盛京省遼陽兵站病院ニ於テ病死
廣島縣豐田郡高坂村大字山中野七十八番邸平民　陸軍輜重輸卒　脇坂　三四郎
同十三日清國盛京省小紀新堡兵站病院ニ於テ病死
島根縣松江市外中原二百四十九番ノ内第二平民　陸軍輜重輸卒　大野　駿三郎
同十五日清國盛京省城廠兵站病院ニ於テ病死
山口縣吉敷郡大道村大字台道七百二十三番屋敷平民　陸軍工兵一等卒　高松　直祐
同十九日清國盛京省蘇胡堡定立病院ニ於テ病死
廣島縣安藝郡江田島村百七十二番屋敷同居平民　陸軍砲兵一等卒　吉原　清太郎

第6883号　本文

第 6883 号　本文

本年度施行シタル試驗ハ第一回ハ四月ヨリ六月ニ亘リ第二回ハ十月ヨリ十一月ニ亘リ其學說試驗ハ各地方廳所在地ニ於テ之ヲ施行シ實地試驗ハ醫術ニ係ルモノハ第一回ハ東京ニ、第二回ハ東京、大阪及熊本ニ、藥劑師ニ係ルモノハ第一回第二回トモ東京及大阪ニ於テ之ヲ施行セリ

本年度施行シタル醫術開業試驗ノ成績ヲ擧クレハ前期試驗ニ係ル出願者五千二百三十六人、及第者七百九十七人、後期試驗ニ係ル出願者四千二百七十三人（内實地試驗ノミノ者九百二十六人）、及第者六百十八人（内實地試驗ノミノ者四百三十七人）、齒科ニ係ル出願者六百三十八人（内實地試驗ノミノ者六十五人）、及第者四十九人（内實地試驗ノミノ者二十四人）ニシテ出願者百人ニ對スル及第者ノ比例ハ前期ニ係ル者十五人二分二厘、後期ニ係ル者十四人四分六厘、齒科ニ係ル者四人五分五厘ニ當レリ之ヲ前年度ニ比スレハ出願者ニ在リテハ前期ニ係ル者二百六十四人、後期ニ係ル者四百六十七人、齒科ニ係ル者二十三人、計千三百九十四人ヲ減シ及第者ニ在リテハ前期ニ係ル者二百八十六人、後期ニ係ル者八十八人、齒科ニ係ル者三十四人、計四百八人ヲ減シ出願者百人ニ對スル及第者ノ比例ニ在リテハ前期ニ係ル者一人四分四厘、後期ニ係ル者一人四分八厘、齒科ニ係ル者七人九分六厘ヲ減セリ

本年度施行シタル藥劑師試驗ノ成績ヲ擧クレハ出願者九百二十三人（内實地試驗ノミノ者五十一人）、及第者二百十八人（内實地試驗ノミノ者四十五人）ニシテ出願者百人ニ對スル及第者ノ比例ハ二十三人六分二厘ニ當レリ之ヲ前年度ニ比スレハ出願者二百八十八人、及第者ニ六十七人、出願者百人ニ對スル及第者ノ比例ニ三人八厘ヲ增セリ

附屬醫院　本年度治療シタル外來患者ノ數ハ新來ニ係ル者内科七千六百八十四人、外科五千九百二十一人、計一万三千六百五人、再來ニ係ルモノ内科一万八千百四十八人、外科一万六千六百十七人、計三万四千七百六十五人、合計四万八千三百七十人、入院患者ノ數ハ實入員内科百二十六人、外科二百九十一人、計四百十七人、延人員内科七千七百二十一人、外科九千百九十二人、計一万六千九百十三人ニシテ前年度ニ比シ外來患者ニ三万二千三百八十八人ヲ減シ入院患者實入員ニ十六人、延人員ニ千五百五十一人ヲ增セリ

東京學士會院

東京學士會院　學藝ノ品位ヲ高クシ以テ教化ノ裨補ヲ謀ランカタメニ設クル所ニシテ碩德碩學ノ中ヨリ選出セラレタル會員ヲ以テ組織シ文部大臣ノ管理ニ屬ス而シテ其會員ハ各自專攻ノ學科ニ就キ論說ヲ述ヘ學藝及教化ニ關スル事項ニ就キ報告ヲ爲シ又文部大臣ヨリ諮問アルトキハ審議復申スヘク會員各自意見アルトキハ會院ニ於テ審議シ文部大臣ニ開陳スルコトヲ得ルモノトス

本院職員ノ數ハ會長一人、幹事二人、書記一人、事務囑託一人ニシテ會員ノ數ハ二十六人、其中帝室ノ特選ニ係ル者一人、六十歲以上ニシテ年金ヲ受ルモノ一人アリ外ニ僑寓人ニシテ其本國ニ在リテ本院ノ客員タル待遇ヲ受クル者一人アリ

本年度本院ノ開會ハ十回ニシテ其講演ノ題目及講演者ノ氏名ヲ擧クレハ「戰爭ト衞生」緒方正規、「滿洲及西伯利亞地理ノ概略」大島圭介、「紅葉ニ就テ」田中芳男、「藤原時代ノ人北海ノ關係（前回ノ續）」重野安繹、「大陽曆ノ沿革」寺尾壽、「滿洲境界狀勢」小藤文次郎、「朝鮮語ト日本歷史」宮崎道三郎、「平和ト知覺神經」三宅秀、「文明史上ヨリ見タル日本戰捷ノ原因」井上哲次郎、「原始人類ノ話」小金井良精ナリトス

本年度聽講者ハ延人員千四百一人ニシテ毎會平均百四十人ニ當レリ又本院會員ノ講演及記事ヲ登載セル東洋學藝雜誌ヲ購入シテ之ヲ會員、諸學校、圖書館、學會等ヘ配付セシモノ千二百部アリ

震災豫防調査會

震災豫防調査會　文部大臣ノ監督ニ屬シ震災豫防ニ關スル事項ヲ攻究シ其施行方法ヲ審議スル所トス

本會職員ノ數ハ會長一人、幹事一人、委員二十四人、臨時委員九人、囑託員二十二人、書記一人、雇員八人ナリ

本會ノ調査事業ハ概ネ從來ノ方針ニ據リ研究ヲ繼續セリ今其事項ノ要目ヲ擧クレハ大地震ノ前知ニ關シテハ人體ニ感覺ヲ與フル大小ノ地震ハ勿論感覺ナキ局部ノ微動、遠地ノ大震竝ニ地ノ非地震的脈動即チ微動脈動傾斜動等一般地動ノ不斷觀測及特別觀測、歷史的地震記錄ノ調査、地震ノ統計的調査、地震ト時トノ關係、地震ト地理トノ關係、地震ト緯度變化トノ關係、地震ト氣壓トノ關係、地震ト海水壓力トノ關係、地震ト太陰及潮汐トノ關係、震原地ノ推定竝ニ震原ノ深サノ測算、地震波傳進速度ノ測定、鳴動及地震音響ノ調査、斷層線ト溫泉トノ關係、地下溫度ノ測定、深井内水位ノ觀測、海水振動ノ驗測、氣壓ト海面ノ高サトノ關係、氣壓ノ週期的變化、地磁力ノ不斷觀測、磁力測量、岩石ノ壓力及熱トニ關スル物理的性質ノ調査、火山ノ地質調査、物料ノ強弱試驗等ニシテ許多ノ有益ナル結果ヲ得タリ

各委員等ヨリ提出セル報告ニシテ本年度ニ於テ編纂印刷シ須要ニ應シテ配付セシモノハ震災豫防調査會報告第四十八號乃至第五十號、同歐文報告第十七號乃至第二十一號ニシテ其目ヲ擧クレハ岩木火山地質調査報文、日本ノ地震分布（地理ト震原トノ關係）、地震ト緯度變化ノ關係ニ就キテ、鮎川及三崎ニ於ケル海水面一年中ノ高低、地ノ脈動一年中ノ分布、近年日本ニ於ケル火山噴出表、岩代國半田銀山變動ノ沿革及山崩總說、石川縣能登國鹿島郡久江村陷落地調査報告、地震驗測法一斑、岩石彈性率ノ測定竝ニ震波ノ速度及餘震ニ關スル調査、複式水平振子地動計、水平微動驗測器械、月（太陰）ノ一日中ニ於ケル地ノ分布、大陽曆一箇月中ニ於ケル地震ノ分布、深井内ニ於ケル水位ノ變化、地震傳播速度ノ測定、近距離ヨリ發セル地震傳播ノ速度、驗潮儀記錄ヨリ潮汐ノ高低ヲ除去スル器械、大阪ニ於ケル地動觀測ニ就キテ、日本地震學近年ノ進步、地震器械ノ應用（汽車振動ノ驗測第二回報告）煉瓦家屋内ニ於ケル地震驗測（第三回報告）、明治三十七年六月六日地震ノ記象、暴風雨ノ際ニ於ケル地面ノ傾斜、東京地動計觀測ノ結果等ナリ

聖路易萬國博覽會ノ開設ニ際シ本會ヨリ出品シタルハ震災豫防調査會報告邦文四十七册、附錄二册、同歐文十五册、地震ノ氣象圖十枚、汽車振動記錄圖、鐵道橋梁驗測等ノ記象圖五枚、日本ノ地震分布圖三枚、汽車橋梁振動驗測器械、微動驗測器械、微動計等ナリ

本年度ニ於テ地下溫度觀測、海水振動調査、津浪調査、火山地質調査、火山ノ視察、震災地調査、陷落地調査、鐵筋混凝土工事視察、其他地震事項調査ノタメ京都、大阪、神奈川、新潟、埼玉、千葉、茨城、栃木、靜岡、岐阜、長野、宮城、福島、巖手、山形、石川、山口、熊本、宮崎、鹿兒島ノ二府十八縣下及臺灣ヘ委員及囑託員等ヲ出張セシメタリ

本年度ニ於テ我政府ハ新ニ帝國議會ノ協贊ヲ經テ萬國地震學協會ヘ加入スルコトヽ爲リタルヲ以テ同會中央局ニ對シテ爲スヘキ學術上ノ報告及其他ノ事務ハ總テ本會ニ於テ取扱フコトヽ爲レリ其加盟スルニ至リタル沿革ヲ略記センニ是ヨリ先明治三十二年十月伯林ニ開設セル第七回萬國地理學總會ニ於テ萬國地震學協會ヲ創設スルノ件ヲ可決シタルノ結果同三十三年ニ至リ獨逸國「ストラスブルグ」府國立中央地震研究所主唱者トナリ同所長「プロフエツソル、ゲルランド」ヨリ我東京帝國大學總長及理科大學田中館、大森ノ兩教授竝ニ震災豫防調査會長ヘ宛テ明治三十四年四月、「ストラスブルグ」府ニ於テ開設スヘキ萬國地震學協會ノ創立委員會ニ本邦ヨリ委員參列ヲ望ム旨申來リシヲ以テ同年十一月東京帝國大學總長及震災豫防調査會長ノ稟申ニ依リ同三十四年二月東京帝國大學理科大學教授理學博士大森房吉ニ同協會創立委員會委員トシテ參列仰付ケラレタリ而シテ同會議ニ於テハ日本委員ノ提議ニ基キ全會一致ヲ以テ萬國地震學協會ヲ各國政府カ國際的ニ組織スルヲ適當ト信スル旨ヲ可決シ且ツ同協會規則案ヲ議決セリ同三十五年八月ニ至リ在本邦獨逸國公使ハ本國政府ノ訓令ニ依リ萬國地震研究ノ設備ニ日本帝國政府加入ノ上專門家委員ヲ派遣スルノ件ニ關シ我政府ヘ照會スル所アリ依テ文部大臣ハ其地震學上最緊要ナルヲ認メ閣議ヲ經テ委員派遣等ニ關スル諸般ノ手續ヲ了シ同三十六年五月東京帝國大學理科大學教授理學博士田中館愛橘、同大森房吉ヘ同年七月獨逸國「ストラスブルグ」ニ於テ開設ノ萬國地震學研究創立委員會委員トシテ參列仰付ケラレタリ同委員會ニ於テ議決セシハ萬國地震學協會ノ組織ニ關スル規約案十五箇條ニシテ其要項ヲ摘記スレハ諸文明國同盟シテ萬國地震學協會ヲ組織シ以テ地震ニ關スル理論及應用上重要ナル問題ヲ調査スルヲ目的トシ之ニ要スル費用ハ各加盟國政府ヨリ各其人口ニ應シテ四百「マーク」乃至三千二百「マーク」ヲ支出スルコト、各加盟國委員ノ總會ハ毎四年以内ニ一回開設シ中央局ハ獨逸國「ストラスブルグ」地震研究所ニ設クルコト、其他各加盟國ト同協會トノ間ニ於ケル重要ナル事項ノ往復ハ總テ外交上ノ手續ヲ經由スヘキコト等トス而シテ本年度ニ於テ正式ノ手續ヲ了シ加盟スルニ至リタリ

中央氣象臺

中央氣象臺　文部大臣ノ管理ニ屬シ氣象ニ關スル事項ヲ攻究シ氣象事業ヲ統轄スル所ニシテ全國氣象上ノ調査及報告、暴風警報、天氣豫報、氣象通報、氣象器械檢定竝氣象、地磁氣、空中電氣、地震等ノ觀測ニ關スル事務ヲ掌ル而シテ鹿兒島縣下大島及沖繩縣下石垣島ニ附屬觀測所ヲ設置シ又臨時氣象觀測ノタメ本臺ニ臨時觀測所ヲ置ク

職員ノ數ハ技師四人（内一人臺長兼任）臨時觀測技師一人、技手十五人、臨時觀測技手三十八人、書記四人、臨時觀測所書記二人、囑託員七人、雇員三十八人ナリ而シテ本年度氣象觀測事業ニ關シ本臺職員ヲ内地ニ出張セシメタルコト技師二回、技手三回ニシテ其他臨時觀測所設置及臨時氣象觀測事務視察ノタメ清國及韓國ヘ技師ノ差遣セラレタルコト三回ナリトス

本年度ニ於ケル施設事業ノ概要ヲ擧クレハ石川縣輪島測候所ハ明治三十七年三月三十一日限廢止セラレタルヲ以テ四月一日ヨリ能登國舳倉島ト氣象電報ノ交換ヲ開始シ明治三十七年勅令第六十號及同第百八十八號ヲ以テ設置セラレタル臨時觀測所ニアリテハ第一及第二ハ既ニ同年三月中ニ開始セシカ其第三ハ四月六日、第五ハ同月十日、第四ハ五月一日、第六ハ九月十一日、第七ハ同月三十日ニ開始シ孰モ其當日ヨリ氣象電報ノ往復ヲ開始セリ又觀測所以外ニ技手ヲ在勤セシメタルモノヽ中清國芝罘ハ九月十三日、天津ハ同月十九日、杭州ハ十月六日、南京ハ同月十二日、漢口ハ明治三十八年一月十七日、沙市ハ同月十八日ヨリ氣象觀測ヲ開始シ日々二回本臺ニ氣象電報ヲ發送スルニ至レリ臨時事件ニ關シテハ其筋ノ請求ニ依リ前年度來繼續シテ宇品外二箇所ヘ日々天氣模樣ヲ電報シ尚ホ長崎、神戶、大阪ノ三測候所ヘモ臨時ニ電報ヲ發シ韓國方面ノ天氣模樣ニ就キテハ毎日三回電話ヲ以テ海軍軍令部及大本營ヘ通知シタリ又氣象月報、氣象年報、天氣圖、氣象要覽、三十三年地震報告邦文、三十二年地磁氣及空中電氣報告、初氷及蒸發量東京地中溫度報告（歐文）及仁川氣象一班ヲ刊行シ内外須要ノ箇所ニ配付セリ

本年度測候所ノ數ハ本臺直轄十三箇所、地方測候所六十五箇所（其中一等測候所十四箇所、二等測候所五十一箇所）、私設測候所三箇所、地方測候所ト同樣ノ觀測ヲナスモノ海軍測器庫四箇所、海軍望樓二十箇所、燈臺一箇所、合計百六箇所ニシテ前年度ニ比シ十二箇所ヲ增シ其他氣象觀測ヲ囑託スルモノ六人アリ

明治三十七年中正式警報信號標ノ新ニ設立セシモノ又ハ正式ニ改正セシモノハ兵庫、大分ノ二縣ニ各々七箇所、愛媛縣ニ六箇所、靜岡、德島ノ二縣ニ各々五箇所、新潟、福島、高知ノ三縣ニ各々三箇所、京都府、宮城縣ニ各々二箇所、北海道及長崎、千葉、三重、青森、鳥取、廣島、香川、福岡、宮崎ノ九縣ニ各々一箇所、合計五十三箇所、又廢止シタルモノ臺灣ニ一箇所ニシテ同年末ニ於ケル正式警報信號標ノ總數ハ二百六十四箇所ナリ

明治三十七年中氣象ノ概要ヲ擧クレハ春暖秋冷共ニ平年ニ比シテ稍々早ク來リ夏期ニ於テ稍々高溫ヲ示シタリト雖モ全年ノ平均溫度ハ殆ト平年ニ異ナラス降水量ハ日本海岸、濃尾地方、陸羽地方竝ニ北海道ニ於テハ平年ヨリ稍々多キモ其他ノ地方ニ於テハ平年ニ比シテ頗ル寡ク就中四國及九州ノ南部竝ニ南西諸島ニ於テ特ニ寡ク概ネ千粍以上ノ過少ヲ示セリ又本年中本邦附近ヲ通過セシ低氣壓ハ其數百五十八アリ其最モ多ク現出シタル月ハ十一月ニシテ二十三ニ達シ最モ少キハ一月ニシテ僅ニ七ナリ其七百四十粍以下ニ降リシハ七月ニ三回、八月九月十月ニ各々二回、十一月十二月ニ各々一回アリト雖モ熱帶颶風ノ性狀ヲ現セシモノハ八月ヨリ十月ノ間ニ六回アリシノミ就中最モ顯著ナルモノハ八月十八日呂宋ノ北ニ現レタル低氣壓カ北西ニ進行シ同十九日午後三時奄美大島（最低氣壓七百九粍）ヲ經過シタル際ニ生シタルモノニシテ本州西部ハ十九日夜ヨリ暴風雨ト爲リ殊ニ九州地方ハ風威最猛烈ニシテ家屋農作ニ被害尠カラス馬山浦及釜山等ハ二十日ノ午前九時頃ヨリ非常ノ暴風雨ト爲リ海嘯ヲ伴ヒ家屋ノ潰倒、船舶ノ離破甚多ク頗ル慘狀ヲ呈セリ此低氣壓ハ本年中ノ最低氣壓ナリトス九月十四日琉球ノ東方遠ナル海上ニ現レタル低氣壓ハ其示度前者ノ如ク低カラサルモ十七日午前二時潮岬（最低氣壓七百二十四粍）附近ヨリ本州中部ニ入リ本州一帶ニ暴風雨ヲ起シ中部及東部ハ風勢殊ニ猛烈ニシテ雨量又甚多ク河川ノ氾濫、橋梁ノ墜落、鐵道ノ破損等被害頗ル多大ナリ又本年中ノ最高氣壓ハ一月二十七日大陸方面ヨリ來リ本州ヲ掩ヒタル高壓部ニ生シタルモノニシテ七百八十粍ヲ示シ此ノ如キ高度ハ本邦ニ於テハ稀ニ見ル所ナリトス

三十七年中觀測シタル地震ノ概要ヲ擧クレハ強震二十七回、弱震百五十回、微震千四十八回、合計千二百三十回ニシテ前年ノ總數ニ比シ百九十回、累年ノ平均ニ比シ五百二十三回ノ減少ヲ示セリ其強震ノ數ハ前年ニ比シ十六回、累年平均ニ比シ七回ノ減少ナリト雖モ廣區域ニ亙リタルモノ稍々多カリシヲ以テ臨地總面積ハ孰ニ較フルモ稍々大ナリシナリ今其分布ヲ見ルニ武藏平原竝ニ房總半島ノ沿海岸ニ發シタルモノ頗ル多カリシヲ以テ平年ニ比シ筑波山ハ八十四回、東京ハ四十一回、熊谷、橫濱ハ各々三十回以上ノ增加ニシテ此附近ノ地方ハ孰モ百回以上ヲ觀測セリ之ニ反シテ磐城灘ヨリ三陸ノ海洋ニ亙リテハ顯著地震稀ニシテ且ツ局發性ノモノモ亦尠カリシカタメ一體ニ震數寡少ニシテ平年ニ比シ減少ヲ示シ信濃ノ中部ヨリ濃尾平原ニ亙リテモ局發地震寡ク畿内以西ノ諸國及州南諸島モ一般ニ寡少ナリシカ唯臺灣ノ南部ニ於テハ二回ノ顯著地震アリテ其餘震夥多ナリシヲ以テ平年ニ比シ臺南ハ五十三回ノ增加ヲ示セリト雖モ該地震ハ北方ニ傳播スルコト稀ニシテ臺北ニ於テハ却テ二十餘回ノ減少ヲ示シタリ本年中震動ノ最顯著ナリシモノハ四月二十四日及十一月六日ノ兩回臺灣島嘉義地方ニ發シタル强震ニシテ共ニ家屋ノ損傷大ナリシカ殊ニ後者ニ於ケル被害最モ著シク死傷者二百九十三人、家屋ノ倒潰三千五百五十棟ニ及ヘリ其他道路堤防ノ龜裂缺壞夥シク引續キ數十回ノ餘震アリタリ之ニ次クハ五月八日越後國南魚沼郡六日町ニ發シタル强震ニシテ家屋ノ破壞、土地ノ龜裂等少カラサリシモ被害ハ幾ニ一局部ニ限ラレタリ又面積ノ大ナルモノヲ擧クレハ二万方里以上ニ亙リタルモノ一回、一万方里以上二万方里以下ノモノ五回、五千方里以上一万方里以下ノモノ十六回千方里以上五千方里以下ノモノ七十二回ニシテ合計九十四回ナリトス

測地學委員會

測地學委員會　文部大臣ノ監督ニ屬シ萬國測地學協會ニ關スル事務ヲ管理シ及測地學ニ關スル事項ヲ攻究スル所トス

本年度末職員ノ數ハ委員長一人、委員十一人、臨時委員三人、囑託員九人、書記二人、雇員一人ナリ

會務中重ナル事項ヲ擧クレハ委員會議ニ關スル件、臨時緯度觀測所ノ觀測事項ニ關スル件、萬國測地學協會中央局ヘ緯度觀測ノ結果報告ノ件、萬國緯度觀測事業繼續ニ關スル件、氣象及地動調査、重力測定、基線測量等囑託ニ關スル件等ナリ而シテ本年度ニ於テ調査上又ハ視察ノタメ職員ヲ各地ニ出張セシメタルコト十五回ニシテ委員長一回、委員四回、臨時委員一回、囑託員三回、雇員六回ナリ

本年度ニ於テ委員會議ヲ開キタルコト一回ニシテ年度内調査セシ事業ノ概要ヲ擧クレハ從來ノ方針ニ依リ東京ニ於ケル緯度變化觀測、潮觀測ノ結果調査、水澤ニ於ケル氣象及地動調、德島、丸龜、岡山、津山、福山、松山、大分、宇和島、中津、折尾ニ於ケル重力測定等ノ調査ヲ繼續シ又新ニ基線尺比較實驗ニ著手シタル等測地學研究上多大ノ有益ナル效果ヲ收ムルニ至レリト雖モ測地學ノ事業ハ前途尚ホ遼遠ニシテ多年ノ研究ヲ經ルニアラサレハ其結果ヲ報告スル能ハサルモノトス

臨時緯度觀測所

臨時緯度觀測所　文部大臣ノ監理ニ屬シ帝國政府ト萬國測地學協會トノ條約ニ依リ緯度變化ノ觀測ニ關スル事務ヲ掌ル所ニシテ巖手縣膽澤郡水澤町ニ之ヲ設置ス

本所職員ハ技師二人（内一人ハ所長）技手一人、書記一人、雇員一人ナリ

本年度ニ於ケル緯度變化觀測事業ハ前年度ト異ナルコトナク毎晴夜觀測ニ從事シ變化事項ヲ攻究シ觀測原簿ハ毎月之ヲ萬國測地學協會中央局ニ送致シ又天文ト氣象トノ關係ヲ研究センカタメ測地學委員會ト共同シテ氣象及地震ノ觀測ヲ施行シタルコトモ前年度ニ異ナラス緯度變化觀測ノ結果ハ萬國測地學協會中央局ノ計算ニ依ルニ廻轉地軸變化ハ明治三十二年冬創立ノ際最小ノ期ニシテ爾後漸々增大シ明治三十六年ニ至リ最大ニ達セシカ明治三十七年ニ於テ漸々減少ヲ見ルニ至レリ木村項ハ三十七年中ニ於テモ一年ノ周期常ニ同一ノ振幅ヲ現セリ

理學文書目錄委員會

理學文書目錄委員會　文部大臣ノ監督ニ屬シ萬國理學文書目錄委員會ニ關スル事務ヲ管掌スル所トス

本年度末職員ノ數ハ會長一人、幹事一人、委員二十三人、囑託一人、書記一人ナリ

本年度ニ於テハ萬國理學文書目錄委員會地方局處務要項ニ基キ前年度ニ繼續シテ本邦ニ於テ出版セル純正理學ニ關スル文書ニ就キ各委員ヲシテ其專門學科ニ分擔シ目錄材料ニ供スヘキ「スリツプ」ヲ調製シ之ヲ編纂印刷ノ上英國倫敦萬國理學文書目錄委員會中央局ニ送付シ同時ニ之ヲ東京、京都兩帝國大學及帝國圖書館ニ寄贈シ其他萬國理學文書目錄出版ノ件、萬國評議會要項書ノ件、萬國理學文

第6883号　本文

第六八八三号　本文

第6883号 本文

絹綿天鵞絨	六七、二八二	二六、一六一	四一、一二一
自轉車及部分品	三三、八四〇	二七、五九〇	六、二五〇

輸入ノ減退セシモノ

品名	三十八年下半期 圓	三十七年下半期 圓	減退額 圓
米	一五一、八三〇	七四六、八七八	五九五、〇四八
牛皮及水牛皮	三二三、〇六一	八三二、八二九	五〇九、七六八
生綿	四六、五一五	一一二、六三六	六六、一二一
鐵筒及管	二二三、四三八	三九六、六四四	一七三、二〇六
砂糖	三、〇一〇、〇六二	三、九七〇、一一二	九六〇、〇五〇
精糖	五七、三一〇	五四六、三二二	四八九、〇一二
生金巾	一五、四五六	三八、一二四	二二、六六八
羊毛	二六四、七〇八	三二一、九三五	五七、二二七
毛絲	一一四、二四七	一六四、四五一	五〇、二〇四
籐	二一、二〇〇	三〇、八九九	九、六九九
「ダイナマイト」	五〇、三九八	九五、〇一五	四四、六一七

而シテ如上輸出入貨物增減消長ノ狀況ニ關シテハ更ニ後章ニ說述スヘシ

第二章 通商國ニ對スル貿易ノ概況

當港本期ノ貿易ニ就キ之ヲ通商國別ニ觀察スレハ輸出ニ在リテハ支那及韓國ニ著シキ增加ヲ示シ輸入ニ在リテハ支那及英吉利ニ增進セシモ韓國、蘭領印度、獨逸及北米合衆國ニ尠カラサル減退ヲ示セリ卽チ左ノ如シ

國別	三十八年下半期 圓	三十七年下半期 圓	比較增減 圓
輸出			
支那	二〇、〇五五、四三二	一〇、〇九八、二五二	九、九五七、一八〇
韓國	一〇、九五四、五三七	九、〇七九、五九六	一、八七四、九四一
香港	二五九、一〇〇	三七七、四六四	△一一八、三六四
英領印度及同海峽殖民地	五七、二七〇	一九、八〇四	三七、四六六
其他ノ諸國	一、〇八八、七七一	三〇四、五一六	七八四、二五五
計	三二、四一五、一一〇	一九、八七九、六三二	一二、五三五、四七八
輸入			
支那	三、二九七、一三五	一、八八九、〇二四	一、四〇八、一一一
韓國	一、〇八二、二四八	二、一二七、六二四	△一、〇四五、三七六
蘭領印度	二、六一四、六四六	三、七〇〇、二五三	△一、〇八五、六〇七
英吉利	一、〇二四、九九三	六九七、四三二	三二七、五六一
獨逸	二九〇、四一五	一、一八〇、二七〇	△八八九、八五五
白耳義	三六、五七六	二五、六四七	一〇、九二九
北米合衆國	二八四、三〇三	三三六、二七七	△五一、九七四
濠太剌利	一二三、四三一	五七、八六七	六五、五六四
其他ノ諸國	六〇二、七二六	四八〇、五八六	一二二、一四〇
計	九、三五六、四七三	一〇、四九四、九八〇	△一、一三八、五〇七
合計	四一、七七一、五八三	三〇、三七四、六一二	一一、三九六、九七一

而シテ通商國ノ主タルモノニ就キ重要輸出入品ヲ擧ケテ前年ニ比較スレハ左ノ如シ

第一 對支那輸出重要品表

品名	三十八年下半期 圓	三十七年下半期 圓	比較增減 圓
精米	七三、〇六〇	六、一三九	六六、九二一
寒天	四五、八七九	七五、五九一	△二九、七一二
昆布及刻昆布	一〇一、九五一	六五、七九七	三六、一五四
麥酒	二二〇、六〇二	六六、五六二	一五四、〇四〇
清酒	一、三八九、八三六	六二二、五四七	七六七、二八九
醬油	七六、一五〇	三二、四一一	四三、七三九
精糖	三九三、一五〇	二三、三九三	三六九、七五七
糖菓類	一八四、一七四	一二四、九五六	五九、二一八
罐詰壜詰食物	二九一、八〇九	一一三、二〇〇	一七八、六〇九
釦鈕	七八、七七九	六三、九九五	一四、七八四
綿「メリヤス」肌衣	一一九、一一三	七〇、四〇七	四八、七〇六
洋服	七四、二七一	二七、四〇五	四六、八六六
帽子	九七、八七八	三六、一九八	六一、六八〇
靴足袋	四七、一五五	二四、六九三	二二、四六二
熟銅	五、一九一、〇九八	一、四八一、〇〇七	三、七一〇、〇九一
薄板鐵	一二、八七八	八九、〇一六	△七六、一三八
鐵及鋼製品	一〇八、二〇四	三七、〇九〇	七一、一一四
連史紙	二九二、六九五	三二一、〇一五	△二八、三二〇
絹綿繻子	二九九、九〇七	二一七、九二三	八一、九八五
綿織絲	一、五二九、八七五	一、一三二、七〇六	三九七、一六九
綿「ブランケット」	一六二、〇五八	一三九、一二八	二二、九三〇
毯齋布	一一七、五一三	一四五、一五五	△二七、六四二
綿「フランネル」	九九、九七九	一三五、二五一	△三五、二七二
生金巾	一、三五三、三八三	二七八、八五四	一、〇七四、五二九
「シーチング」	一一七、七八五	一	一一七、七八五
天竺布	一九六、八八九	六三、九三三	一三二、九五六
綾金巾	九二、三四〇	四三、三八五	四八、九五五
浴巾	二五九、八三九	二八〇、九一二	△二一、〇七三
紙卷煙草	四九、三九九	五四、五四一	△五、一四二
掛時計及置時計	八一、七四六	五九、六〇三	二二、一四三
玻璃鏡	一七一、七三七	一二三、七九七	四七、九四〇
「ランプ」	六〇、四四九	四二、四〇〇	一八、〇四九
「マッチ」	一、一〇九、四六〇	一、〇四〇、〇五三	六九、四〇七
磁器陶器	二二七、七〇九	七五、六四〇	一五二、〇六九
化粧石鹼	一二六、二八六	一二八、一三四	△一、八四八
洋傘	一四七、一五一	四六、〇八五	一〇一、〇六六
木材及板	三四五、〇五二	三、七四一	三四一、三一一
綿綠器	一三一、六九七	二二四、三一九	△九二、六二二
諸機械類	二〇八、三三三	一一六、九三四	九一、二九九
裝身具及化粧品	六一、六四八	四七、九六四	一三、六八四
文具	一八九、二一六	九六、一五二	九三、〇六四
其他諸品	四、〇一七、三九九	二、一三〇、二二一	一、八八七、一七八
合計	二〇、〇五五、四三二	一〇、〇九八、二五二	九、九五七、一八〇

第二 對支那輸入重要品表

品名	三十八年下半期	三十七年下半期	比較增減
漆	一一三、一四九	六三、五二二	四九、六二七
牛皮及水牛皮	一三七、九三六	二八六、九八三	△一四九、〇四七
繰綿	八一〇、七〇九	五一〇、九八三	二九九、七二六
柞蠶絲	五二二、七九三	一九八、六七八	三二四、一一五
豚毛	四九、四一八	一八、六七一	三〇、七四七
羊毛	一五五、九七四	二五五、八五八	△九九、八八四
砂糖	六四、三六五	一九四、八七七	△一三〇、五一三
籐	二一、二〇〇	三〇、八九九	△九、六九九
諸藥品	三八、八五五	四八、一八六	△九、三三一
綿子	六五、三五二	一	六五、三五二
鐵及鋼塊	八一、三八四	一	八一、三八四
安質母尼	五〇、七三四	一六、九〇五	三三、八二九
菜種	一三、六八七	二、六四六	一一、〇四一
毛皮	二五、九九六	一一、九一四	一四、〇八二
獸毛	四七一、〇四〇	四六、八三四	四二四、二〇六
唐紙	一二、八九三	一〇、一四七	二、七四六
麥稈眞田	二三、四五〇	四四、〇一六	△二一、五六六
苧麻	三〇〇、四四四	四二、一七六	二五八、二六八
油糟	八七、二三四	七、九五二	七九、二八二
包席	二八、一七六	一〇、八八九	一七、二八七
其他ノ諸品	二二三、三四六	八六、九〇七	一三六、四三九
合計	三、二九七、一三五	一、八八九、〇二四	一、四〇八、一一一
輸出入合計	二三、三五二、五六七	一一、九八七、二七六	一一、三六五、二九一

第三 對韓國輸出重要品表

品名	三十八年下半期	三十七年下半期	比較增減
精米	五二、八六四	二一、六〇二	三一、二六二
麥酒	八〇、一四五	六九、三六五	一〇、七八〇
清酒	五二四、九五七	五一三、五〇三	一一、四五四
醬油	七二、六四二	四四、八六二	二七、七八〇
精糖	二九四、三三三	一四二、〇三六	一五二、二九七
蜜柑	七〇、四八五	四三、四一二	二七、〇七三
罐詰壜詰食物	八八、八三一	八八、六三五	一九六
綿「メリヤス」肌衣	三三、二七一	五五、三七九	△二二、一〇八
洋服	四一、九七四	一二〇、四八九	△七八、五一五
履物	七七、八五九	九二、〇九一	△一四、二三二
鐵鍋及釜	六九、五一三	三九、七四七	二九、七六六
鐵及鋼製品	一六三、九五七	二三四、三八九	△七〇、四三二
白銅	六二、四四三	二六、二〇一	三六、二四二
熟銅	二九、四一七	四一、二八〇	△一一、八六三
擬洋紙	六五、九九八	五六、九九八	九、〇〇〇
打綿	四六五、三二八	二三九、四五七	二二五、八七一
諸絹布	七〇、四四三	四四、三三五	二六、一〇八
綿織絲	一、八一五、四三五	一、六二三、八三九	一九一、五九六
綿「ブランケット」	五七、七二六	六一、九三二	△四、二〇六
白木綿	一、三五二、三三一	七〇七、八七三	六四四、四五八
瓦斯絲織	八九、二五七	一六、七三二	七二、五二五
綿「フランネル」	四六、九九八	四九、二四六	△二、二四八
生金巾	一、三八三、八三六	八二〇、一六二	五六三、六七四
「シーチング」	二三三、四八六	七〇一	二三二、七八五
天竺布	一七八、四〇二	一一〇、三四七	六八、〇五五
打紐及眞田紐	七七、一六六	四〇、五三一	三六、六三五
浴巾	三九、八七一	六三、一五六	△二三、二八五
木材及板	九二、二〇七	四八、一九八	四四、〇〇九
家具	一一四、六四〇	四四、八五二	六九、七八八
紙卷煙草	四五五、九二五	三三七、九六五	一一七、九六〇
繩索叺及筵	三七七、三八七	二六六、五八〇	一一〇、八〇七
玻璃鏡	四〇、四二一	六二、〇二七	△二一、六〇六
「マッチ」	一七二、二六八	一七三、七〇四	△一、四三六
磁器陶器	七六、五一八	六〇、四二五	一六、〇九三
化粧石鹼	二二、六五一	二五、〇〇八	△二、三五七
洋傘	一三、〇三八	一一、二二二	一、八一六
文具	九二、七五三	五三、六五六	三九、〇九七
其他諸品	一、九五〇、七六一	二、六二九、六五九	△六七八、八九八
合計	一〇、九五四、五三七	九、〇七九、五九六	一、八七四、九四一

第四 對韓國輸入重要品表

品名	三十八年下半期	三十七年下半期	比較增減
米	一五一、八三〇	七四六、七一七	△五九四、八八七
大豆	五六三、三七四	五七五、四五五	△一二、〇八一
生綿	二九、一九六	一一二、六三六	△八三、四四〇
牛皮及水牛皮	一八四、七一五	五四五、七三一	△三六一、〇一六
其他ノ諸品	一五三、一三三	一四七、〇八五	六、〇四八
合計	一、〇八二、二四八	二、一二七、六二四	△一、〇四五、三七六
輸出入合計	一二、〇三六、七八五	一一、二〇七、二二〇	八二九、五六五

第五 對香港輸出重要品表

品名	三十八年下半期	三十七年下半期	比較增減
熟銅	四、三五〇	一五五、三〇〇	△一五〇、九五〇
綿織絲	七九、五四八	七五、二二五	四、三二三
綿「フランネル」	六一、一四三	三五、六五五	二五、四八八
生金巾	四四、二九五	一	四四、二九五
天竺布	五三、七二三	一	五三、七二三
浴巾	六一九	九、一一三	△八、四九四
手拭地	一、四七七	一二、五五八	△一一、〇八一
諸機械類	四四八	四六、六九五	△四六、二四七
菜種油	一	一四、四二〇	△一四、四二〇
其他諸品	一三、四九七	二八、四九八	△一五、〇〇一
合計	二五九、一〇〇	三七七、四六四	△一一八、三六四

第六 對英吉利輸入重要品表

品名	三十八年下半期	三十七年下半期	比較增減
生金巾	一四、六七四	三八、一二四	△二三、四五〇
毛絲	五三、二七六	七、七九九	四五、四七七
羅紗	三〇七、四九八	一二〇、三四三	一八七、一五五
絹綿天鵞絨	六五、五〇五	二六、一六一	三九、三四四
綿繻子	二五、八四八	二、〇四五	二三、八〇三
綿天鵞絨	一四、六七四	二、五八二	一二、〇九二
晒金巾	二〇、七〇五	二三、〇四三	△二、三三八
傘用綿布	五九、四七五	一	五九、四七五
「セルヂス」	一二、七九七	一五、四六六	△二、六六九
鐵筒及管	一〇、九三八	一〇六、〇六七	△九五、一二九
鐵條及竿	一六、五〇八	四三九	一六、〇六九
同板(電鍍共)	一〇、五三九	六、九九九	三、五四〇
鋼、條竿及板	七八、二五五	一〇、〇二五	六八、二三〇
「ダイナマイト」	二五、二〇七	二一、七三九	三、四六八
農具及工匠具	一五、〇五二	一一、一〇四	三、九四八

第6883号 本文

機械及部分品	一六、八五五	一二、八三八	四、〇一七
汽船	五三、六九七	—	五三、六九七
乳脂	二六、七七三	一九、二〇六	七、五六七
其他諸品	一九六、七一七	二七四、四五二	△七七、七三五
合計	一、〇二四、九九三	六九七、四三二	三二七、五六一

第七　對獨逸輸入重要品表

羅紗	五四、三六七	三六、七一一	一七、六五六
「フランネル」	三二、九八一	四、四〇五	二八、五七六
「ブランケット」	一二、八四九	一五、九五七	△三、一〇八
「ダイナマイト」	二五、一九一	七三、二七六	△四八、〇八五
酒精	五、五七六	九七、七二七	△九二、一五一
精糖	四六、四五〇	五二一、六二七	△四七五、二七七
羊毛	三、九八一	三八、三六四	△三四、三八三
毛絲	四八、二四二	一二八、二八八	△八〇、〇四六
汽船	—	一四八、一〇四	△一四八、一〇四
其他諸品	六〇、七七八	一一五、七一一	△五四、九三三
合計	二九〇、四一五	一、一八〇、二七〇	△八八九、八五五

第八　對北米合衆國輸入重要品表

鐵筒又管	一二、〇六六	九〇、五七七	△七八、五一一
鉛塊及錠	六四、〇四五	—	六四、〇四五
自轉車及部分品	二五、四七九	二六、二〇〇	△七二一
鹹肉	四一、七二三	—	四一、七二三
靴底皮	二、七八九	一二〇、二九一	△一一七、五〇二
熟皮	一、五一四	六三五	八七九
機械及部分品	二四、四八四	一九、二一一	五、二七三
其他諸品	一一二、二〇三	七九、三六三	三二、八四〇
合計	二八四、三〇三	三三六、二七七	△五一、九七四

第三章　金銀ノ流出入

本期ニ於テ金銀ノ當港ヨリ流出シタルモノハ五十万餘圓其流入ニ係ルモノハ二百三十七万餘圓ニシテ流入ハ流出ニ超過スルコト百八十六万餘圓ニ達シ而シテ之ヲ前年同期ニ比スレハ流出ハ四十八万餘圓ヲ增シ流入ハ百五十万餘圓ヲ減退セリ即チ左ノ如シ

		三十八年下半期	三十七年下半期	比較增減
流出	金	—	—	—
	銀	五〇九、〇五二	二四、七三八	四八四、三一四
	計	五〇九、〇五二	二四、七三八	四八四、三一四
流入	金	二、二二七、七四二	二、七二四、四一九	△四九六、六七七
	銀	一四八、七六一	一、一五五、八二〇	△一、〇〇七、〇五九
	計	二、三七六、五〇三	三、八八〇、二三九	△一、五〇三、七三六
合計		二、八八五、五五五	三、九〇四、九七七	△一、〇一九、四二二
流入超過		一、八六七、四五一	三、八五五、五〇一	—

而シテ本期流出銀ハ主トシテ韓國政府ノ依託ニ依リ我造幣局ニ於テ鑄造シタル銀貨トス次ニ流入ニ在リテ金ハ其大部分第一銀行ノ手ヲ經テ韓國ヨリ輸入スル金地金ニシテ我カ中央銀行ノ金準備ニ供セラル、モノニ係リ銀ハ前年同期ニ於テ滿洲ニ流通セシムヘキ銀貨ノ料トシテ馬蹄銀ヲ輸入シタルアルモ本期ニ及テハ其必要ヲ見サリシニ依リ輸入著シク減退セルモノトス

第四章　輸出重要品ノ狀況

精米　本品當期ノ輸出額ヲ仕向國別トシ之ヲ前年同期ニ比較スルニ左ノ如シ

國別	三十八年下半期 數量（石）	價額（圓）	三十七年下半期 數量（石）	價額（圓）	比較增減 數量（石）	價額（圓）
韓國	八、〇六三	五二、八六四	四、一四八	二一、六〇二	三、九一五	三一、二六二
支那	一〇、六〇二	七三、〇六〇	八八三	六、一三九	九、七一九	六六、九二一
露領亞細亞	五三	三七〇	—	—	五三	三七〇
計	一八、七一八	一二六、二九四	五、〇三一	二七、七四一	一三、六八七	九八、五五三

前表ノ如ク當期ノ輸出額ハ前年同期ノ輸出額ニ比シ數量ニ於テ三倍七割價額ニ於テ四倍半ノ增進ヲ呈セリ

惟フニ清韓地方ハ著明ナル米産地ニシテ年々本邦ニ輸入スル額頗ル莫大ナルニ却テ本品ノ輸出ヲ見ルハ一見奇異ノ觀ナキニアラス然レトモ清國向ハ重ニ滿洲方面ニ供給シタルモノニシテ同方面ニ在リテハ米産ニ乏シク且ツ運輸機關不備ノタメ却テ本邦ヨリ其供給ヲ仰クヲ便トスルノミナラス元來清韓地方ニ産スル米ハ本邦産ニ比シ品質稍々劣等ニシテ殊ニ韓國ノ如キ精米事業ノ幼稚ナルタメ一層其風味ヲ損シ本邦産精米ニ及ハサルコト遠シ故ニ該地方ニ在留スル本邦人ハ概ネ其供給ノ一部ヲ本邦ニ仰クヲ以テ本品ノ輸出ヲ見ル所以ナリ而シテ其消長ハ在留者ノ增減ニ係ルコト多シト雖モ當期ノ輸出額カ前掲ノ如キ著大ノ增進ヲ呈シタルハ神阪兩港間ニ於ケル通關手數上ノ關係ニ依ルコト即チ前年下半期ニ在リテハ主トシテ神戸港ヲ經由輸出セラレシニ當期ニ於テハ直接當港ニ依ルモノ多カリシタメ前掲ノ如キ劇增ヲ來シタルモノトス

昆布及刻昆布　本品當期ノ輸出高ヲ仕向國別トシ之ヲ前年同期ニ比較スルニ左ノ如シ

國別	三十八年下半期 數量（斤）	價額（圓）	三十七年下半期 數量（斤）	價額（圓）	比較增減 數量（斤）	價額（圓）
韓國	二六〇、二〇四	一三、二九八	二五三、九八七	一三、六七九	六、二一七	△三八一
支那	二、六三三、六三〇	一〇一、九五一	一、四八〇、九九四	六五、七九七	一、一五二、六三六	三六、一五四
露領亞細亞	一、一〇〇	四六	—	—	一、一〇〇	四六
香港	四八七	一一	六、〇〇〇	二一〇	△五、五一三	△一九九
英領海峽殖民地	四〇〇	一一	二三一	一一	一六九	—
計	二、八九五、九二一	一一五、三三七	一、七四一、二一二	七九、七一七	一、一五四、七〇九	三五、六二〇

前掲統計ニ示スカ如ク當期ノ輸出額ハ清國ニ於テ著大ノ增加ナリ是レ要スルニ（一）前年同期ニ於テ不況ナリシヲ幾分恢復シタルコト、（二）銀價騰貴ニ因ル爲替ノ低落ニ依リ購買ヲ容易ナラシメタルコト、（三）北清方面ニ一般食用トシテ需要ヲ增加シタルコト等主因ナルヘシ但シ當年本品ノ産額ハ甚タ不況ナルニ生産費ノ增加ニ依リ價格騰貴シ輸出商談ニ少カラサル支障ヲ與ヘタルハ事實ニシテ當期韓國香港ニ輸出好況ナラサリシモ亦是等ノ事由アリシニ因レリト云フ

麥酒　本品當期ノ輸出高ヲ仕向國別トシ之ヲ前年同期ニ比較スルニ左ノ如シ

國別	三十八年下半期 數量（打）	價額（圓）	三十七年下半期 數量（打）	價額（圓）	比較增減 數量（打）	價額（圓）
韓國	三六、五三三	八〇、一四五	二八、〇一七	六九、三六五	八、五一六	一〇、七八〇
支那	九五、五二五	二二〇、六〇二	二六、五六四	六六、五六二	六八、九六一	一五四、〇四〇
露領亞細亞	一、四〇〇	三、二五五	—	—	一、四〇〇	三、二五五
香港	四〇	一〇二	一、〇四〇	二、七二四	△一、〇〇〇	△二、六二二
計	一三三、四九八	三〇四、一〇四	五五、六二一	一三八、六五一	七七、八七七	一六五、四五三

近時韓民ノ狀態ハ京城、仁川其他開港場附近ニ在リテハ衣食住共ニ成ルヘク邦人ニ倣フヲ最モ得意トスルニ至リ本品ノ如キモ漸ク韓人ノ嗜好ニ適シ宴會其他船車ノ旅行中麥酒ヲ飲用スルコト流行スルニ至リ從テ輸出額ハ漸次增進ノ好況ヲ呈セリ次ニ本期支那向ハ數量價額共ニ二倍餘ニ增加シタルハ滿洲ニ於ケル邦人ノ需要清國人間ノ嗜好銀價騰貴及日露戰費ノ散布ニ基ク購買力ノ增加等ニ依ルモノ、如ク而シテ露領亞細亞ニ於テハ前年下半期ニハ皆無ナリシニ本年同期ニ千四百打ノ輸出ヲ見ルニ至リシハ露西亞ノ麥酒ヨリモ本邦品ノ優勝新鮮ナルヨリ同國人ノ嗜好ニ適セシニ依ルモノニシテ尚ホ進ミテハ沿海州及黑龍江方面ニ其販路ヲ擴張スルニ至ルヘシト信ス

清酒　本品當期ノ輸出ヲ仕向國別トシ之ヲ前年同期ニ比較スルニ左ノ如シ

國別	三十八年下半期 數量（升）	價額（圓）	三十七年下半期 數量（升）	價額（圓）	比較增減 數量（升）	價額（圓）
韓國	一、一九六、二一七	五二四、九五七	一、三三二、九八三	五一三、五〇三	△一三六、七六六	一一、四五四
支那	三、一三七、〇七一	一、三八九、八三六	一、七八一、〇七四	六二三、五四七	一、三五五、九九七	七六六、二八九
露領亞細亞	四〇	二二	—	—	四〇	二二
計	四、三三三、三二八	一、九一四、八一四	三、一一四、〇五七	一、一三六、〇五〇	一、二一九、二七一	七七八、七六四

即チ韓國ニ於テ僅ニ一割弱ノ減量ヲ見レハ上半期ニ於テ多額ノ輸出アリタルニ依リ市場在荷潤澤ナリシニ依ル而シテ價額反テ增加ヲ示セシハ本邦ニ於テ本品拂底ノタメ昨年ニ比シ約二割ノ高位ヲ呈セシニ依ルナリ

次ニ支那ニ於テ七割餘ノ增加ヲ見シハ要スルニ東清鐵道ノ復舊工事其他ノ事業ニ依リ滿洲ニ於ケル本邦勞働者等ノ增加シタルコト其主タル原因トス

醬油　本品當期ノ輸出額ヲ仕向國別トシ之ヲ前年同期ニ比較スルニ左ノ如シ

國別	三十八年下半期 數量（升）	價額（圓）	三十七年下半期 數量（升）	價額（圓）	比較增減 數量（升）	價額（圓）
韓國	四〇二、三五二	七二、六四二	二七一、五四七	四四、八六二	一三〇、八〇五	二七、七八〇
支那	三八七、六八〇	七六、一五〇	一六八、七一六	三二、四一一	二一八、九六四	四三、七三九
露領亞細亞	一三、三九五	三、三六〇	—	—	一三、三九五	三、三六〇
香港	四三九	一一九	—	—	四三九	一一九
英領海峽殖民地	一八〇	七九	三六	一三	一四四	六六
計	八〇四、〇四六	一五二、三五〇	四四〇、二九九	七七、二八六	三六三、七四七	七五、〇六四

上掲統計ニ示スカ如ク當期本品ノ輸出ハ頗ル好況ヲ呈シ其主タル仕向國ハ清、韓兩地ニシテ韓國ニ在リテハ四割餘支那ニ在リテハ十二割餘ヲ增加シ而シテ露領亞細亞、香港ニ在リテハ前年下半期ニ於テ皆無ナリシニ反シ幾分ノ輸出ヲ見ルニ至レリ

蓋シ本品ハ未タ汎ク清韓ノ國民ニ需要セラル、ニ至ラサルヲ以テ其輸出ハ主トシテ在留邦人ニ供給スルノ現況ナレハ本期ノ增出ノ如キ亦邦人ノ增加ニ基因スルモノタルヘク他ニ特殊ノ理由ヲ認メス而シテ韓國ニ於テハ邦人ノ本品釀造ヲ試ル者アルモ其造石高微々タルモノナレハ本品輸出ノ將來ハ引續キ好況ヲ呈スヘク信セラル

精糖　本品當期ノ輸出額ヲ仕向國別トシ之ヲ前年同期ニ比較スルニ左ノ如シ

國別	三十八年下半期 數量（斤）	價額（圓）	三十七年下半期 數量（斤）	價額（圓）	比較增減 數量（斤）	價額（圓）
韓國	一、六八三、二八九	二九四、三三三	九〇〇、一一六	一四二、〇三六	七八三、一七三	一五二、二九七
支那	三、一八六、六八九	三九三、一五〇	一八〇、六〇三	二三、三九三	三、〇〇六、〇八六	三六九、七五七
計	四、八六九、九七八	六八七、四八三	一、〇八〇、七一九	一六五、四二九	三、七八九、二五九	五二二、〇五四

前掲ノ如ク數量ニ於テ三百七十八万餘斤價額ニ於テ五十二万餘圓ヲ增加セリ其原因ノ主ナルモノ左ノ如シ

一　内地市場相場ノ低落
二　韓國ニ於ケル菓子製造用トシテ需要ヲ促カシタルコト
三　清國ニ於テ滿洲及上海方面ノ需要著シク增大セシコト
四　清國爲替ノ順調ナリシコト
五　航通ノ增加ト共ニ從來神戸港ヲ經由セシモノ、直接當港ヨリ輸出セラレシコト

本品市場ノ形勢ハ昨年來ノ見越在荷頗ル潤澤ヲ告ケシノ結果トシテ今春來相場ノ低落滔々トシテ止ル所ヲ知ラサルノ有樣ナリシカ此趨勢ハ幸ニ需要勃興シテ滿洲方面ニ向ヒテ輸出ノ旺盛ヲ招致シ又上海方面ニ於テ獨澳糖ニ比シ價格ノ差ヲ生シ勢本邦精糖ノ輸入ヲ增進セシメシヲ以テ春來混沌中ニ在リシ糖界モ幾分愁眉ヲ開クヲ得タルモノ、如シ

寒天　本品當期ノ輸出額ヲ仕向國別トシ之ヲ前年同期ニ比較スルニ左ノ如シ

國名	三十八年下半期 數量（斤）	價額（圓）	三十七年下半期 數量（斤）	價額（圓）	比較增減 數量（斤）	價額（圓）
韓國	一、五五八	一、二一五	一、〇九九	八五九	四五九	三五六
支那	六四、一六〇	四五、八七九	一〇六、七五二	七五、五九一	△四二、五九二	△二九、七一二
露領亞細亞	二、八〇〇	一、九三九	—	—	二、八〇〇	一、九三九
合計	六八、五一八	四九、〇三三	一〇七、八五一	七六、四五〇	△三九、三三三	△二七、四一七

增減ノ理由左ノ如シ

一　昨年ハ非常ナル好況ニテ持荷悉ク輸出シタル次第ニシテ幾分荷閊ヲ來シ加フルニ本期ハ暖氣ノタメ製造上支障ヲ生シ思ハシキ品ヲ得ス取引引合ハス商況沈衰ノ狀況ニ在ルコト
二　韓國ニ於テハ小額ニテ邦人ノ日用ニ供スルモノニテ別ニ差シタル理由ナシ
三　露領亞細亞ハ前述ノ如シ

鈕釦　本品當期ノ輸出額ヲ仕向國別トシ之ヲ前年同期ニ比較スルニ左ノ如シ

國別	三十八年下半期（圓）	三十七年下半期（圓）	比較增減（圓）
韓國	四、〇九六	二、九六三	一、一三三
支那	七八、七七九	六三、九九五	一四、七八四
露領亞細亞	四、五八八	—	四、五八八
香港	—	二	△二
合計	八七、四六三	六六、九六〇	二〇、五〇三

本品ノ韓國向ハ貝甲製ニ限ラレ韓人ハ多ク常ニ「チョッキ」ヲ著シ之ニ各數箇ノ鈕釦ヲ要スレハ其需要甚タ多ク又韓服ニ紐ヲ用ヒタリシカ漸次鈕釦ヲ用フルニ至リタル等益々需要增加ノ趨勢アリ而シテ中ニハ邦人ノ用ニ供スルモノアレトモ其九分マテハ韓人ノ用ニ供セラルト云フ

支那向輸出品ハ多ク金屬製ニシテ其上衣ニ用フルモノナリ販路ノ狀況ヲ觀察スルニ從來ノ製品ハ其形狀意匠等ニ於テ稍々舊式ニ渉リ南清中清ニ於テハ不景氣ノ有樣ニシテ特ニ開港地ニ於テハ已ニ一般ニ其目ニ慣レ賣行減少ノ傾アリ只尚ホ開拓ノ餘地アル北清地方ニ田舍向ノ物需要多シト雖モ此ヲ以テ彼ノ獨逸製品ニ對抗シ好況ヲ得ルニハ當業者ノ大ニ熟考ヲ要スル所ニシテ目下苦心シツヽアリト云フ當港本期ノ貿易額ノ前期ニ比シ各地ニ增加シタルハ誠ニ嘉スヘキコトニシテ支那ニ於テモ一昨三十七年ハ見越輸入行レ一時荷閊ヲ來シ商人ノ倒産スルモノ等アリテ沈衰ノ狀態ナリシカ本期ニ入リ順調ニ向ヒ斯ク增進ヲ爲シタルモノナリ

綿「メリヤス」肌衣　本品當期ノ輸出額ヲ仕向國別トシ之ヲ前年同期ニ比較スルニ左ノ如シ

國別	三十八年下半期 數量（打）	價額（圓）	三十七年下半期 數量（打）	價額（圓）	比較增減 數量（打）	價額（圓）
韓國	四、八三〇	三三、二一七	一〇、〇六六	五五、三七九	△五、二三六	△二二、一〇八
支那	二一、五九四	一一九、一一三	一四、六三三	七〇、四〇七	六、九六一	四八、七〇六
露領亞細亞	六、三七九	二七、五五〇	—	—	六、三七九	二七、五五〇
香港	五三	三〇五	四	二〇	四九	二八五
英領海峽殖民地	五	一六	二〇〇	一、二〇三	△一九五	△一、一八七
計	三二、八六一	一八〇、二五五	二四、九〇三	一二七、〇〇九	七、九五八	五三、二四六

本期ノ輸出額ハ前年同期ニ比シ韓國及英領海峽殖民地ニ於テ減少セシモ支那、露領亞細亞ニ於テ增加セシヲ以テ結局數量七千九百五十八打價額五万三千二百四十六圓ノ增加ニ了レリ其原因ハ

一　清國殊ニ北清ニ於ケル販路擴張セシコト

第6883号　本文

平均	一五•二〇〇	一四•五七三	一三•九六四	二三•三〇〇 二〇•四一〇	二〇•六〇九 二〇•〇六三	二〇•三三二 一九•一六四	一九•七三一 一八•六二四	一八•九二四 一七•七八七	一五•三七七	一三•八七六	一三•四九四	四•二〇一
前年同期平均	一二•九九〇	一二•一二五	一一•一七五	一九•〇九六 一八•〇六一	一八•〇六一 一六•七二三	一六•七七三 一六•二二四	一六•二二四 一五•五三六	一五•五二八 一四•八九四	一四•一九八	一二•六三〇	一一•七〇五	七•九六五
比較 高	二•二三〇	二•四四七	二•七八九	三•二〇四	二•五四八	三•五五九	三•五〇七	三•三九六	一•一七九	九三六	七八九	—
比較 低	—	—	—	二•三五九	三•三四〇	二•九三〇	三•〇九一	二•八九三	—	—	—	三•七六四

○東京米穀取引所定期賣買高　東京米穀取引所ニ於ケル去月下半月定期米賣買石數並ニ一石平均直段左ノ如シ即チ賣買石數平均二万千七百六十九石ニシテ之ヲ去月上半月ノ平均一万二千二百八十七石ニ比スレハ九千四百八十二石ヲ増セリ（東京米穀取引所ノ報告ニ據ル）（東京府）

日別	賣買石數 五月限（石）	六月限（石）	七月限（石）	合計（石）	一石平均直段 五月限（圓）	六月限（圓）	七月限（圓）
十六日	—	三、六五〇	一〇、四〇〇	一四、〇五〇	—	一四•八三	一五•二一
十七日	五〇〇	二五〇	六、七五〇	七、五〇〇	一六•〇七	一四•八六	一五•二三
十八日	五〇〇	六〇〇	八、五〇〇	九、六〇〇	一六•〇七	一四•八七	一五•二四
十九日／二十日	—	二五〇	九、四〇〇	九、六五〇	—	一四•七八	一五•一五
二十一日	六〇〇	六五〇	五、一〇〇	六、三五〇	一六•〇七	一四•七九	一五•一三
二十二日	五〇〇	九〇〇	六、〇五〇	七、四五〇	一六•〇七	一四•八〇	一五•一五
二十三日	—	六〇〇	五、四五〇	六、〇五〇	—	一四•八六	一五•一七
二十四日	—	一、〇五〇	一六、〇五〇	一七、一〇〇	—	一四•九五	一五•二一
二十五日	—	一、九〇〇	八、四五〇	一〇、三五〇	—	一四•八六	一五•二六
二十六日／二十七日	二〇〇	一、九〇〇	七、七五〇	九、八五〇	一六•〇七	一四•九三	一五•二〇
二十八日	五〇〇	一、五五〇	一五、一〇〇	一七、一五〇	—	一四•九一	一五•二九
二十九日	八、一〇〇	一、〇五〇	九、八五〇	一九、〇〇〇	一六•〇七	一四•九〇	一五•二八
三十日	一三八、〇〇〇	一、二五〇	九、六五〇	一四八、九〇〇	一六•〇七	一四•八四	一五•一五
合計	一四八、九〇〇	一五、六〇〇	一一八、五〇〇	二八三、〇〇〇	—	—	—
平均	二、二七一	一、二〇〇	九、一一五	二一、七六九	一六•〇七	一四•八九	一五•二三

○深川倉庫在米高　東京廻米問屋市場ニ於テ調査セル去月下半月深川倉庫在米高並ニ輸出入額左ノ如シ（東京府）

日別	持越高 內國米（俵）	持越高 外國米（袋）	輸出高 內國米（俵）	輸出高 外國米（袋）	輸入高 內國米（俵）	輸入高 外國米（袋）	差引現在高 內國米（俵）	差引現在高 外國米（袋）
十六日	一、三六八、七六六	二三三、〇五二	一四、九四五	二、六五五	二、六六四	—	一、三五六、四八五	二三〇、三九七
十七日	一、三五六、四八五	二三〇、三九七	一二、九五六	二、七九六	二、七二五	九、五三六	一、三四六、二五四	二三七、一三七
十八日	一、三四六、二五四	二三七、一三七	一三、五八九	一、四二五	二八、三八八	—	一、三六一、〇五三	二三五、七一二
十九日／二十日	一、三六一、〇五三	二三五、七一二	一五、四八五	四、二四四	二七、六八一	—	一、三七三、二四九	二三一、四六八
二十一日	一、三七三、二四九	二三一、四六八	一四、三七二	三、二四〇	五、九〇〇	二、九四七	一、三六四、七七七	二三一、一七五
二十二日	一、三六四、七七七	二三一、一七五	一二、五五八	三、〇九二	一九、六一〇	一五、六六五	一、三七一、八二九	二四三、七四八
二十三日	一、三七一、八二九	二四三、七四八	一一、二四六	二、九六三	一一、八〇四	一、二〇八	一、三七二、三八七	二四一、九九三
二十四日	一、三七二、三八七	二四一、九九三	一二、四五七	三、五二一	五〇、〇八八	四、三二八	一、四一〇、〇一八	二四二、八〇〇
二十五日	一、四一〇、〇一八	二四二、八〇〇	一一、八〇八	二、八四五	三三四	二、六二二	一、三九八、五四四	二四二、五七七
二十六日／二十七日	一、三九八、五四四	二四二、五七七	一二、〇八三	二、三八五	一八、七〇〇	一、二五〇	一、四〇五、一六一	二四一、四四二
二十八日	一、四〇五、一六一	二四一、四四二	一三、一九〇	二、三〇八	一一、四八五	一、六五八	一、四〇三、四五六	二四〇、七九二
二十九日	一、四〇三、四五六	二四〇、七九二	一三、四五七	二、一一八	八、三七二	五七三	一、三九八、三七一	二三九、二四七
三十日	一、三九八、三七一	二三九、二四七	一三、四七四	三、〇〇〇	二九、四四八	一、八〇八	一、四一四、三四五	二三八、〇五五
三十一日	一、四一四、三四五	二三八、〇五五	一一、七八〇	一、九四一	二一、〇七五	一、五七四	一、四二三、六四〇	二三七、六八八
合計	—	—	一八三、四〇〇	三八、五三三	二三八、二七四	四三、一六九	—	—
四月下半月合計	—	—	一三〇、五五一	二四、八〇一	一八一、五六四	五〇、七七一	—	—
比較増減	—	—	五二、八四九	一三、七三二	五六、七一〇	△七、六〇二	—	—

○實用新案登錄　特許局ニ於テ去月二十一日ヨリ同三十一日マテニ實用新案ヲ登錄セシモノ左ノ如シ（農商務省）

登錄番號	實用新案名稱	登錄證主氏名		
二二二八	萬年下駄	大分縣	村山	磯次郎
二二二九	繪はがき手帳	兵庫縣	平井	政吉
二二三〇	洋傘木柄手曲ゲ機	大阪府	山崎	源之助
二二三一	懷中小鏡袋	同	椋本	政吉
二二三二	縱縮襯衣	同	泉岡	宗助
二二三三	玻璃球「ヨリナル」提燈	同	山口	巳之助
二二三四	實用猿股	同	八木	友太郎
二二三五	蟹爪形除草器	新潟縣	片桐	悅郎
二二三六	洋刀柄	東京府	山本	銀次郎
二二三七	蟹爪代用除草器	長崎縣	松瀨	三郎
二二三八	鏡	大阪府	平井	寅治郎
二二三九	「ボールト」	東京府	中村	鐵三郎
二二四〇	兩用煙管	三重縣	園田 西村	鹿吉 峰吉
二二四一	「メリヤス」製「ハンカチーフ」（手巾）	大阪府	神田	榮治郎
二二四二	廣瀨表	靜岡縣	井上	半藏
二二四三	螺旋渡玩具	東京府	梅本	清八郎
二二四四	手風琴笛	大阪府	今井	次治郎
二二四五	「リボン」緣「ヘム」縫手巾	同	村田	德松
二二四六	紐口止金具	同	福島	銀次郎
二二四七	莫大小製短胴衣ノ構造	東京府	山田	勇一郎
二二四八	千鳥掛縫綴機	大阪府	竹內	源吉
二二四九	消火器	東京府	山口	清三郎
二二五〇	燭臺附蠟燭代用燈	同	山口	兼吉
二二五一	哺乳器口金	同	水野	龜太郎
二二五二	擬絹絲經木眞田	兵庫縣	齋藤	儀四郎
二二五三	履物	大阪府	柞原	攝二
二二五四	除草器	兵庫縣	上田	又吉
二二五五	小兒用衞生防水「シーツ」	東京府	松下	喜平
二二五六	布叟車	同	山本	榮吉
二二五七	先掛草履	岡山縣	佐伯	元太郎
二二五八	釜	大阪府	福井	清次郎
二二五九	硝子製硯	廣島縣	田中	庫次
二二六〇	眼鏡	大阪府	橋本	清三郎
二二六一	和合洋燈臺	同	中村	佐吉
二二六二	和合燈	同	同	
二二六三	安息器	東京府	關口	梧郎
二二六四	習字用紙石盤	同	後藤	武右衞門
二二六五	麥搨機	愛知縣	淺井	松治郎
二二六六	鋲穴附陶製壁板	東京府	大盛合資會社	
二二六七	戸締用掛金	同	磯野 伊藤	十七吉 小一郎
二二六八	靴足袋	大阪府	松村	芳三郎
二二六九	絲捲機械	和歌山縣	福生	德太郎
二二七〇	糊入器	大阪府	渡邊	嚴
二二七一	扇骨彫刻器	京都府	瀨頭	淺吉
二二七二	製絲用接緒器	東京府	安齋 林	丑之助 信夫
二二七三	洋燈油壺	大阪府	小島	幸太郎
二二七四	腹卷付「パッチ」	同	上松	定
二二七五	繪葉書及寫眞立	東京府	西尾	昇二
二二七六	下駄	群馬縣	三好 平尾 小沼	虎吉 春吉 傳三郎
二二七七	東洋甕（乙種）	大阪府	中尾	武之助
二二七八	釀造用器具消毒機	同	福岡	駒吉
二二七九	蝙蝠傘口止鎖	東京府	北澤	小太郎
二二八〇 二二八一	筆筥 筆立	同	欄木	松次郎
二二八二	脚袢	同	酒井 三上	岩吉 彌作
二二八三	湯茶保溫器	大阪府	加藤	武左衞門
二二八四	衞生清便器	同	行德	潤吾
二二八五	染物縫張機	廣島縣	今出	嘉助
二二八六	焙燒器	東京府	鹽田	元三郎
二二八七	活動眼鏡（玩具用）	同	北川	喜太郎
二二八八	金屬製「ニッケル」鍍金盆	大阪府	加藤	武左衞門
二二八九	箱車	東京府	川口	金太郎
二二九〇	浴巾製織機	大阪府	原田	元治郎
二二九一	渦卷絲	東京府	家崎	重藏
二二九二	紐	同	芝田	辰之助
二二九三	朝日織	兵庫縣	丹下	甚太郎
二二九四	衞生傳染病豫防蒲團覆	滋賀縣	川島	勝三郎
二二九五	輕便「キヤル」股	大阪府	吉田	亥造
二二九六	湯沸	同	船津	奈良鹿
二二九七	村山「インキ」壺	廣島縣	村山	靜一
二二九八	肩掛	大阪府	川上	丈三郎
二二九九	夏「ヅボン」下	同	岩崎	太四郎
二三〇〇	枕「カバー」	同	小寺	種吉
二三〇一	縮	神奈川縣	橋本	總三郎
二三〇二	米麥兼用「バケツ」	東京府	勝野	了吉
二三〇三	精米機	同	中根	鐵三
二三〇四	雲井團扇	愛知縣	東雲	文七郎
二三〇五	臭氣拔裝置	大阪府	木村 新池	平吉 留造
二三〇六	防寒靴	石川縣	中村	友治
二三〇七	縮ミ織機	大阪府	多田	成政
二三〇八	蚕取器械	長野縣	樋口	兼晃
二三〇九	環「モール」曳出機	京都府	皆山	ユウ
二三一〇	輕便紙摺器	高知縣	中島	源四郎
二三一一	夏帽子	茨城縣	加藤	政兵衞
二三一二	×形自轉車體	神奈川縣	株式會社「シングルトン、ベンダ、エンド、コムパニー、リミテッド」	
二三一三	花扇	東京府	小山	廣吉
二三一四	改良呑口	同	永田	猛
二三一五	瀧式衞生便器	大阪府	瀧	政楠
二三一六	帽子	東京府	吉井	安吉
二三一七	羽織紐止	同	矢野	重太郎
二三一八	表面擴張製鹽裝置	同	山崎	茂八
二三一九	紐付「カラー」	大阪府	中川	伊作
二三二〇	噴霧器	埼玉縣	山崎	長太郎
二三二一	唾壺	東京府	中澤	寅吉
二三二二	煙管筒	同	築關	彌三郎
二三二三	透團扇	愛知縣	佐藤	慶三郎
二三二四	錢入	大阪府	岩田	長三郎
二三二五	撥子	靜岡縣	川口 伊藤	伊代吉 仙造
二三二六	紋染器械	福岡縣	溜廣	正俊
二三二七	麗帽	東京府	早速	鑛藏
二三二八	新案團扇	大阪府	尾竹	熊太郎
二三二九	藻莚織器	佐賀縣	酒見	次吉
二三三〇	防寒靴下敷	和歌山縣	中村	藤之助
二三三一	德用鍬	青森縣	葛西 新谷	末吉 魁三
二三三二	玩具（姉樣）	東京府	島村	半兵衞
二三三三	城戸式婦人股引	同	城戸	萬吉
二三三四	折疊平置團扇臺	同	中島	藤五郎
二三三五	地下足袋	大阪府	植村	クニ
二三三六	三德裁板	佐賀縣	鐘ケ江	正明
二三三七	稻扱	兵庫縣	清水	磯治
二三三八	金銀眞絲玉入環狀「モール」	京都府	池內	龍寶
二三三九	段物用餅花	東京府	須田	友吉
二三四〇	刃付皮引器	長野縣	鹽川	伊一郎
二三四一	TY式「キヤルマタ」	大阪府	八木	友太郎
二三四二	硝子水入レ	愛知縣	山田	廣太郎
二三四三	伸縮自在輕便笛	同	早野	榮次郎
二三四四	絲捲振手器	埼玉縣	奥平	浦男
二三四五	蘆邊木履	大阪府	增山	九万助
二三四六	人形寫眞入レ	神奈川縣	露木	寅藏
二三四七	焜爐火袋	大阪府	吉川	丑松
二三四八	三德飯櫃	栃木縣	齋藤	千吉
二三四九	稻扱齒	奈良縣	安川	龜太郎
二三五〇	金臼	大阪府	吉田	直七
二三五一	富永式輕便唧筒	京都府	富永	忠次郎
二三五二	都「ランプ」	大阪府	岡島	友二郎
二三五三	標示金具	東京府	小倉	國吉
二三五四	「ミルクセーキ」製造器	同	木村	新太郎
二三五五	杖形注油器	鹿兒島縣	岡積	利兵衞
二三五六	度目付石盤	東京府	宇田野	定吉
二三五七 二三五八	帝國式帽子裏 帽子	靜岡縣	帝國製帽株式會社	

○通運

○內國郵便爲替　內地及在外各局所（臺灣ノ分ヲ除ク）ニ於ケル本年三月中內國郵便爲替ノ振出總額ハ證書枚數百二十一万九百二十八枚其金額千二百五十四万千五百五十七圓六十七錢一厘爲ニ收入セシ爲替料ハ十万三百一圓六十六錢トス共詳細左ノ如シ（△印ハ減）（遞信省）

種別		三十九年三月分	前年同月分	前年同月比較増減	同上割合
證書枚數	有料 通常爲替	三四〇、六四七	四〇一、五九九	△六〇、九五二	△一•五二
	有料 電信爲替	九〇、五六四	六五、四五六	二五、一〇八	三•八四
	有料 小爲替	七六一、七八五	六八〇、〇〇八	八一、七七七	一•二〇
	有料 合計	一、一九二、九九六	一、一四七、〇六三	四五、九三三	〇•四〇
	（無料）通常爲替	一七、九三二	七二、一九八	△五四、二六六	△七•五二
	總計	一、二一〇、九二八	一、二一九、二六一	△八、三三三	△〇•〇七
金額（圓）	有料 通常爲替	七、七五六、八二五•四九四	七、六五八、四三四•二五五	九八、三九一•二三九	〇•一三
	有料 電信爲替	一、六五一、五六二•〇〇〇	一、二二一、六一二•〇〇〇	四二九、九五〇•〇〇〇	三•五二
	有料 小爲替	一、九〇九、八四一•七一三	一、六六五、五四二•八五一	二四四、二九八•八六二	一•四七
	有料 合計	一一、三一八、二二九•二〇七	一〇、五四五、五八九•一〇六	七七二、六四〇•一〇一	〇•七三
	（無料）通常爲替	一、二二三、三二八•四六四	三、一三二、〇一一•七〇一	△一、九〇八、六八三•二三七	△六•〇九
	總計	一二、五四一、五五七•六七一	一三、六七七、六〇〇•八〇七	△一、一三六、〇四三•一三六	△〇•八三
爲替料	通常爲替	四五、七二七•四三〇	三九、四五〇•五〇〇	六、二七六•九三〇	一•五九
	電信爲替	三一、六五二•八〇〇	二五、〇五一•一六〇	六、六〇一•六四〇	二•六四
	小爲替	二二、九二一•四三〇	二〇、四三二•九二〇	二、四八八•五一〇	一•二二
	合計	一〇〇、三〇一•六六〇	八四、九三四•五八〇	一五、三六七•〇八〇	一•八一
證書一枚平均	有料 通常爲替	二二•七七一	一九•〇七〇	三•七〇一	一•九四
	有料 電信爲替	一八•二三六	一八•六六三	△〇•四二七	△〇•二三
	有料 小爲替	二•五〇七	二•四四九	〇•〇五八	〇•二四
	（無料）通常爲替	六八•二二〇	四三•三五三	二四•八六七	五•七四

○雜事

○移民業務代理人解任　日本移民合資會社ヨリフィリッピン群島ニ於ケル業務代理人田中惠吉ヲ（去月三十一日）、南海移民株式會社ヨリフィリッピン群島ニ於ケル業務代理人田中惠吉及藤澤玄吉ヲ（本月一日）、日本吉佐移民合名會社及東洋移民合資會社ヨリ各〻フィリッピン群島ニ於ケル業務代理人內山火平ヲ孰モ解任セシ旨右括弧內ノ日附ヲ以テ屆出テタリ（外務省）

○移民取扱出張所廢置　合資會社三丸商會業務執行社員安中禹一ヨリ岡山縣吉備郡總社町字總社九百二十二番地出張所ヲ廢止（去月二十五日）シ又日本殖民株式會社取締役社長鈴木梅四郎ヨリ福井市佐佐枝上町百六番地ニ出張所ヲ設置（本月一日）セシ旨右括弧內ノ日附ヲ以テ屆出テタリ（外務省）

○在外公館報告

○香港「ペスト」病況　香港ニ於ケル「ペスト」病況ニ付キ在同地領事館事務代理外務書記生隈部軍藏ヨリ去月二十六日ニ終ル前一週間ニ於テハ新患者及死者各〻百十六人ニシテ之ニ前週マテノ分ヲ累計スレハ患者五百九十五人、死者五百六十二人ナル旨同三十日附ヲ以テ報告アリ（本月四日着）（外務省）

○浙江各地新絲市況　淸國浙江省各地ニ於ケル新絲市況ニ付キ杭州駐在領事高洲太助ヨリ去月三十一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（本月五日着、欄內參看）（外務省）

本年浙江各地養蠶及收繭ノ情況ハ前便歷次報告セシカ今更ニ探聞セシ所

杭州府仁和錢塘二縣下	自二至四割	湖州府各縣	自七至八
嘉興府各縣	自五至六	紹興府各縣	自四至六
杭州府海甯縣	一〇	同　餘杭	八

第6883号　本文

第6883号　本文

本文

第6883号

第6883号 本文

第6883号 本文

○勸業債券募集

庚號勸業債券募集
株式會社日本勸業銀行ハ今般左記ノ通無記名利札付庚號勸業債券ヲ募集スルニ付キ御希望ノ向ハ直接本行へ御申込アルヘシ

一債券ノ總額　一百万圓
一債券一通ノ金額　一千圓
一債券ノ利率　年五分五厘
一債券償還ノ金額方法及期限　償還年限ハ二十箇年以内トシ本月十四日ヨリ明治四十年五月三十一日マテ据置キ其以降毎年二回（五月、十一月）抽籤ヲ以テ毎回五千圓以上ヲ償還ス但シ臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一債券發行價格　額面金額以上（銘位ニ止ム）
一商號　株式會社日本勸業銀行
一資本金　一千万圓
一拂込濟株金總額　三百二十五万圓
一現在債券未償還額　二千六百十七万二千二百十圓（明治三十九年六月一日現在）
一現存財產　四千六百五十三万四千四十二圓九十三錢五厘
一元金及利子支拂期　毎年六月、十二月ノ二回
一申込期日　明治三十九年六月十二日
一申込證據金　債券一通ニ付キ二十圓
一拂込期日　明治三十九年六月十三日
一應募申込高カ發行ノ總額ニ超過スルトキハ先ツ申込價格ノ高キモノヨリ募入シ其價格同シキモノハ按分比例ヲ以テ割當テ尚ホ端數ヲ生スルトキハ抽籤ヲ以テ募入ヲ定ム但シ一人ニシテ二回以上申込マレタルトキハ其申込ハ各別ニ取扱フモノトス
一拂込期日ニ拂込ナキトキハ債券ヲ交付セス其已ニ拂込ミタル證據金ハ還付セス
一据置期間ノ利子ハ元金拂込ノ月ノ下半月分ヨリ之ヲ付ス
一償還當籤ノ債券ニシテ償還期以後ノ利札ニ不足アル場合ニ於テハ其不足利札ニ相當スル金額ヲ元金ヨリ控除シ支拂フモノトス但シ後日ニ至リ其不足利札ノ提出アリタルトキハ之カ支拂ヲ爲スモノトス

明治三十九年六月十一日

東京市麹町區内山下町一丁目一番地
株式會社日本勸業銀行

正誤

本月六日本欄一八六頁上段十七行代表社、ハ代表者。、同一八七頁上段二十九行木村秀雄、ハ木村季雄。、同三十行十九箇年ハ九十箇年ノ孰モ誤植
一昨九日本欄商業登記ノ項中水澤區裁判所ノ分ハ產業組合登記ノ項ニ入ルヘキノ誤

○東京郵便局外國郵便締切時限

明十二日神戸マテ汽車便送同地ヨリ伏木丸ヲ以テ上海經由南淸地方ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各二等局
普通	十二日午前十一時半	十二日午前八時
書留	同上	同上
小包	同日午前十時半	同上

（備考）小包郵便物ハ淸國（獨逸局所在地）宛竝國小包竝ニ威海衛、寧波宛香港小包

明後十三日神戸マテ汽車便送同地ヨリ「アンフイ」號ヲ以テ上海經由南淸地方ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各二等局
普通	十三日午前十一時半	十三日午前八時
書留	同上	同上

（注意）高輪局ノ締切時刻ハ他市内各局ニ比シ五十三分、青山局ハ十八分、白金局ハ十六分早シ午後十時ナル締切時刻ハ各局ニ共通スルモノトス

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

因幡丸（歐洲行）明後十三日正午十二時横濱出帆本月十六日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、坡西士、馬耳塞、倫敦、安士府行（横濱、神戸棧橋繫留）
資島丸　同日午後四時横濱出帆神戸行
松山丸　本月十四日未明横濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行
丹後丸　同日午前十時横濱出帆神戸行
春日丸　同日午前十時横濱出帆同十六日午前十時神戸出帆上海行（神戸、門司、長崎經由）（横濱、神戸棧橋繫留）
加賀丸（米國行）同日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行（横濱棧橋繫留）
前記兩地ニ於テ桑港、タコマ、ポートランド、バンクーバー、紐育其他合衆國及歐洲各地行汽車汽船ニ接續ニ付各地行通シ切符及通シ船荷證券ヲ發行ス（米國行三等乘船申込ハ出帆當日三日前マテトス）
三池丸　同十五日正午十二時横濱出帆四日市、神戸行
勝山丸　同十八日正午十二時横濱出帆仁川、大連、芝罘、大沽、牛莊行（四日市、神戸、門司經由）
鎌倉丸（歐洲行）同二十七日正午十二時横濱出帆　同三十日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、坡西士、馬耳塞、倫敦、安士府行（横濱、神戸棧橋繫留）
土佐丸　同二十三日午前十時横濱出帆同二十七日午前十時神戸出帆香港行（神戸、門司經由）
熊野丸（濠洲行）同三十日正午十二時横濱出帆七月三日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行（横濱、神戸棧橋繫留）

○同上神戸等出發表

四國丸　明十二日午前十時神戸出帆釜山、木浦、群山、仁川、鎭南浦行
神戸丸　明後十三日午前十時神戸出帆浦潮斯德行（門司、長崎、釜山、元山、城津經由）
高松丸　同日午前十時函館出帆同十六日午前十時小樽出帆九春古丹、哥爾薩港行（江差、釣掛、壽都、岩内、小樽經由）
山城丸　同日午前十時神戸出帆門司、境、敦賀、七尾、伏木、新潟、酒田、土崎、能代、函館、小樽行
横濱丸　本月十八日午前十時神戸出帆大連行（門司經由）（出帆日延）
相模丸　同二十日午前十時神戸出帆釜山、仁川、芝罘、大沽、牛莊行（門司、長崎經由）
立神丸　同二十一日午前十時神戸出帆芝罘、大沽、牛莊行（門司、長崎經由）
弘前丸　同二十四日午前十時神戸出帆浦潮斯德行（門司、長崎、釜山、元山、城津經由）
臺灣航路

	神戸發	門司著發	基隆著
西京丸　毎月	十八日正午十二時	十九日	二十二日
	十日正午十二時	四日	七日

本船ハ神戸ニテ鐵道棧橋繫留ニ付キ同所ニテ切符購入御乘船ノ便アリ

毎日	青森發	函館發	室蘭著
	午前十時半	午後八時半	翌日午前四時半
	午後十一時	（直航）	
	午後十時半	函館止メ	翌日午前十時半

○大阪商船株式會社及大家商船合資會社汽船神戸等出發表

韓國行
手取川丸　明後十三日午前七時大阪出帆神戸、門司、下關、博多、長崎、嚴原、釜山行
京城丸　同日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、釜山、木浦、仁川、鎭南浦行
木浦丸　本月十八日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、嚴原、釜山、馬山、木浦、群山、仁川行
平壤丸　同二十日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、釜山、木浦、仁川、鎭南浦行
秀丸　同二十三日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、釜山、木浦、仁川、鎭南浦行
淸國行
開城丸　明十二日正午十二時大阪出帆明後十三日午前十時神戸出帆門司、大連行
大信丸（遡航ス）本月十五日午前七時大阪出帆同十六日午前十時神戸出帆門司、芝罘、天津行（天津ハ居留地マテ遡航ス）
彰化丸　同日大阪出帆神戸、門司、上海、鎭江、漢口行（船客ヲ搭載セス）
基隆丸　同十六日正午十二時大阪出帆同十七日午前十時神戸出帆門司、大連行
隅田川丸　同十七日午前七時大阪出帆神戸、門司、下關、仁川、鎭南浦、龍巖浦、安東縣行
大智丸　同二十五日午前七時大阪出帆同二十六日午前十時神戸出帆門司、芝罘、天津行（天津ハ居留地マテ遡航ス）
臺灣行
臺中丸　明十二日正午十二時神戸出帆門司、下關、基隆、澎湖島、安平、打狗行
御嶽丸　本月十四日午前七時大阪出帆神戸、鹿兒島、大島、沖繩、宮古、八重山、基隆行
臺北丸　同十七日午後三時横濱出帆同二十日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行
河野浦丸　同十八日午前七時大阪出帆神戸、鹿兒島、大島、沖繩、宮古、八重山、基隆行
臺南丸　毎月十日、二十五日、正午十二時神戸出帆門司、基隆行
恒春丸　毎月十五日、三十日、正午十二時神戸出帆門司、下關、基隆行
浦潮斯德行
宮島丸　本月十九日午前八時敦賀出帆浦潮斯德行
交通丸　同二十二日午前八時小樽出帆函館、新潟、伏木、七尾、敦賀、浦潮斯德行

○附錄　今十一日發刊廣告十六頁

○廣告

○獻納軍需品

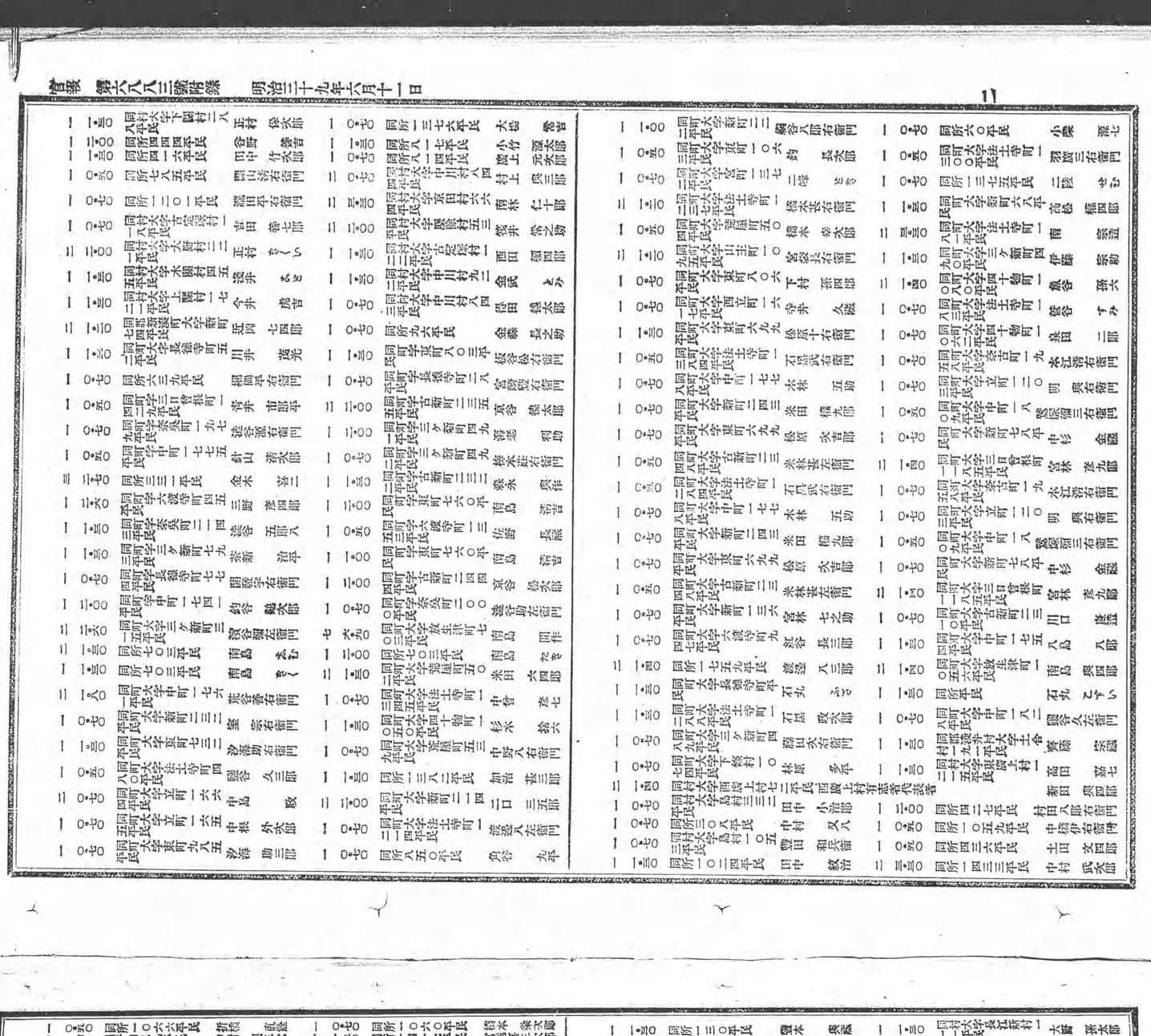
明治三十七年當省告示第十五號獻納軍需品取扱手續ニ依リ受領シタル物品及獻納者ノ氏名左ノ如シ

明治三十九年六月　陸軍省

受領年月日	番號	品目	數量	價格	原籍現住所族籍官位勳級爵	氏名
去月三十日		揭載毛布	二、九〇三枚	二、八五四圓一五錢	富山縣東礪波郡西礪波郡射水郡氷見郡各町村及高岡市有志總代	高岡市長堀二作外二人內譯ノ續

數量(枚)	價格(圓)	原籍現住所族籍	氏名
二	二・〇〇	富山縣射水郡二口村大字木江村八八四平民	水島仕右衛門
一	〇・七〇	同所九九六平民	橋本 幸藏
一	一・五〇	同所九〇一平民	土倉與三右衛門
一	〇・七〇	同所八八一平民	水島 吉藏
一	〇・七〇	同所七〇五平民	小谷 富次郎
		同所八九八平民	安吉清右衛門
二	一・四〇	同所九一八平民	稻垣 吉三郎 外二人
二	二・〇〇	同所八八平民	經塚 文太郎
一	〇・五〇	同所五七〇平民	才藤 外次郎
一	一・三〇	同所七二〇平民	稻垣宗右衛門
一	〇・七〇	同所七三八平民	稻垣 鶴
一	一・三〇	同所四二五平民	大井 俊忠
		同所六四〇平民	堀井九右衛門
二	一・四〇	同村大字本田村七五九平民	
一	〇・七〇	同所六〇二平民	高越 平四郎
一	一・三〇	同所六〇一平民	高瀨 與藏
一	〇・七〇	同所一三五一平民	宮井 太四郎
五	七・五〇	同所七五九平民婦人一同代表者	久谷 せき
一	〇・七〇	同所七九二平民	密 龜次郎
一	〇・七〇	同所七七三平民	門田作右衛門
		同所一九三七平民	寺井 作治
一	二・六〇	同所七四五平民	稻垣 又二 外三人
一	二・〇〇	同所四二三平民	堀井 瀧次郎
一	〇・七〇	同所四四二平民	藤井 喜平
一	〇・七〇	同所四九五平民	淺井 要藏
二	一・四〇	同郡大門町大字大門村一八一平民	開 宗三郎
二	一・四〇	同所六一一平民	篠田 淸八
一	〇・七〇	同所六〇平民	五十嵐榮次郎
一	〇・七〇	同所六八五平民	石黒與右衛門
一	〇・七〇	同所九九七平民	小谷 佐七郎
二	二・〇〇	同所六九六平民	水島 金藏
一	一・三〇	同所九九五平民	稻垣 紋四郎
		同所九〇八平民	稻垣紋右衛門
一	〇・七〇	同所九一一平民	稻垣 卯三郎
		同所九〇〇ノ一平民	土合 要次郎
二	二・〇〇	同村大字棚田村七九九平民	密 助次郎
一	一・〇〇	同所七七三平民	門田作右衛門
一	一・三〇	同所五九八平民	稻垣藤右衛門
一	〇・七〇	同所五一一平民	稻垣 甚平
一	〇・七〇	同村大字安吉村六三七平民	和田 十三郎
一	一・三〇	同所四三一平民	寺西七郎右衛門
		同所四四一平民	安田伊三吉
		同所三八四平民	大井 清藏
			久谷 恒二郎
一	一・三〇	同所八二七平民	宮長 平六
一	二・〇〇	同所八五〇平民	犬内 六三郎
一	〇・七〇	同所一一二五平民	塚越 作藏
一	〇・七〇	同村大字棚田村九一二平民	門田 德太郎
一	〇・七〇	同所一九三平民	稻垣 甚藏
		同所一一五平民	木澤五右衛門
一	二・六〇	同所五九五平民	稻垣八左衛門 外二人
一	〇・七〇	同村大字安吉村四二八平民	松井 九三郎
一	一・〇〇	同所四二二平民	堀井 庄兵衛
一	〇・七〇	同所四六〇平民	藤井 瀧次郎
一	〇・七〇	同村大字下若林村三五平民	林 十平
		同所六八平民	稻垣 宇平
一	〇・七〇	同町大字大門新村三七平民	牧野 庄八
一	一・三〇	同所四一平民	澤田 忠七
一	〇・七〇	同町大字二口村二九三六平民	石積六左衛門
一	二・六〇	同町大字大門村三七一平民	杉本 吉次郎
一	〇・七〇	同所三五平民	應島 佐助
一	一・三〇	同町大字大門新村三平民	扇一兵右衛門
一	〇・七〇	同町大字大門村二〇五平民	笹島佐右衛門
一	一・三〇	同町大字大門村三五九平民	川口 由太郎
二	二・七〇	同町大字大門新村二六平民	河合 長三郎
一	〇・七〇	同町大字大門新村五二	島田 傳七
一	一・三〇	同所七一平民	長森 茂平
一	〇・七〇	同所三八平民	米谷平左衛門
一	〇・七〇	同町大字大門村平民	政橋 淨信
二	二・七〇	同所三一平民	鈴木 長造
一	〇・七〇	同所二二平民	河合 太助
二	一・三〇	同所四一平民	麻生 富次郎
一	〇・七〇	同町大字大門村四〇八平民	福本 善七
一	一・三〇	同所一八五平民	蓮田 作兵衛
一	一・三〇	同所一八三平民	石川 常次郎
一	〇・五〇	同所三六平民	菊池 合惠
一	〇・七〇	同所一六平民	二橋 庄吉
二	一・四〇	同村大字久々湊村一一四三平民	石黒 甚太郎
一	〇・五〇	同村大字殿村[illegible]幡江村七一三平民	宮田 吉藏
一	〇・七〇	同所八三八平民	柴田 直次郎
一	〇・五〇	同所七二七平民	石須 莊三郎
一	〇・五〇	同所八一二平民	木村五郎右衛門 外三人
一	〇・五〇	同所七一六平民	若林 義作
二	三・三〇	同村大字殿村八一一平民	本林 つぎ
一	〇・七〇	同村大字今井村四二六平民	山田 孫八
一	一・三〇	同所四〇〇平民	大坪 角兵衛
一	〇・七〇	同所四三八平民	寺田 甚太郎
一	一・三〇	同所六七五平民	村井 藤八
二	一・三〇	同村大字高木村六三七平民	石黒 準太郎
一	〇・五〇	同縣射水郡下關村四〇八平民	富長 世代
一	一・三〇	同村大字下關村五四一平民	寺井六郎右衛門
一	〇・七〇	同所三六〇平民	淺山 長藏
一	〇・七〇	同所四四平民	堀川 茂三郎
一	〇・七〇	同町大字二口村三九三六平民	牧野 竹次郎
一	〇・七〇	同町大字大門新村六九平民	山崎 富次郎
一	〇・七〇	同所二七〇平民	下條 富次郎
一	〇・七〇	同町大字二口村二九三六平民	山崎孫右衛門
一	〇・七〇	同町大字大門新村三四平民	坂井理右衛門
一	一・三〇	同所一〇平民	扇一佐次右衛門
一	〇・七〇	同町大字二口村二八九一平民	煙草森 はる
一	一・三〇	同所二〇二平民	浦垣安右衛門
二	一・二〇	同町大字大門新村三五平民	河合 菊井
一	〇・七〇	同所六九平民	米谷 七郎平
一	〇・七〇	同所三〇平民	坂東與三左衛門
一	〇・五〇	同所四九平民	米澤 長太
一	〇・七〇	同所一八五平民	廣瀨吉左衛門
二	一・二〇	同町大字大門新村五五平民	三島 義平
一	〇・五〇	同町大字大門村二〇五平民	小林 助四郎
二	二・六〇	同郡作道村大字作道村一九六三平民	齊藤 みつ
一	〇・五〇	同村大字作道村一一九〇平民	荒木 つよ
一	〇・七〇	同所八三九平民	安田 與三郎
一	〇・七〇	同所七三六平民	石須莊右衛門
一	〇・五〇	同所八二七平民	木林 彌兵衛
一	一・三〇	同所八三四平民	有澤次郎右衛門 外數人
一	一・三〇	同所七八五平民	柴田 伊平 外七人
一	一・三〇	同所八一一平民	本林 成人
一	〇・七〇	同所六五六平民	盛田 助次
一	〇・七〇	同所四五〇平民	高田 莊造
一	〇・七〇	同所四四一平民	黒崎 政次郎
一〇	一三・五〇	同所四五〇平民	高田 義太 外五十四人
二	四・六〇	同村大字作道村一九七三平民	荒木 善五郎
二	一・三〇	同村大字中川村六二四平民	南 兵吉
一	一・二〇	同村大字上關村三八八平民	横越 助四郎

広告・恤兵金品等



第6883号　広告・恤兵金品等

第6883号　広告・恤兵金品等

第6883号 広告・恤兵金品等

一 一・二〇 同所四二平民 根木龍太郎
一 二・〇〇 同所三五平民 根木倉吉
一 二・〇〇 同所九平民 小楠初吉
一 一・二〇 同村大字村堤三〇平民 小楠爲吉
一 一・二〇 同所三一平民 松本定次郎
一 二・〇〇 同村大字田尻四三平民 伊藤甚六
一 二・〇〇 同村大字田尻三六平民 松本櫨平
一 二・〇〇 同村大字新橋三〇平民 山内粂濟
一 二・〇〇 同所二八平民 内山治太郎
四 八・〇〇 同所一二三平民 松本勘十
一 二・〇〇 同村大字小澤渡九九平民 岡本三津太郎
三七、一一、九 五、七六〇 同 六五 六八・〇〇 廣島縣山縣郡都谷村有志者總代 都谷村社長 栗栖巳治
内譯
二 三・〇〇 同村大字戸谷村七八平民 勳六等 入澤記一
一 一・〇〇 同所九四平民 入澤重藏
一 一・二〇 同村大字耕一九二平民 山岡ミツ
一 〇・三〇 同所一一六九平民 堀田庄助
一 一・五〇 同所三六五八平民 竹岡秀三郎
一 一・二〇 同所二六平民 神田嘉七
一 一・五〇 同所二〇平民 二反田多市
一 一・二〇 同所二六三平民 竹本龍一
一 一・二〇 同所八六平民 兒玉龜太郎
一 〇・八〇 同所三六六三平民 長島仁藏
一 〇・八〇 同所二三七平民 吉野巳助
一 〇・八〇 同所三五九二平民 織内尊夫
一 二・〇〇 同所二四五平民 島本長松
一 〇・七〇 同所乙ノ二二九平民 東源市
一 一・五〇 同郡吉坂村大字吉木二五〇平民、同郡都谷村大字戸谷耕三三六四 鈴木爲吉
一 〇・八〇 同郡都谷村大字戸谷耕五八一五平民 本田富太
一 一・〇〇 同所乙三三四平民 上原芳太郎
一 一・二〇 同所乙三四七平民 上野仙太郎
一 一・二〇 同所平民 竹森櫨藏
一 一・五〇 同所平民 山田保吉
一 一・五〇 同所乙三三三平民 篠部國太郎
一 一・〇〇 同所三三〇平民 國吉末永
一 一・〇〇 同所耕五ッ一二三八平民 齊原登三郎
一 二・〇〇 同所六一八九平民 齊原實夫
一 〇・八〇 同村大字都志見一二七平民 國本乙五郎
一 一・二〇 同所三三五平民 中西仙次
一 一・〇〇 同所二九九平民 日高吉太郎
一 〇・八〇 同所一六四平民 瀧井千尋
三 三・三〇 同所七四平民 山本總平
一 一・二〇 同所八四平民 小里善太郎
二 一・五〇 同所一五九平民 上川友吉組
二 三・三〇 同所四三一四平民 佐々木綱次組
三 四・〇〇 同所六平民 片山瑠吉組
一 一・〇〇 同所一九八平民 打田信藏組
三 三・〇〇 同所三〇九平民 菅野善平組
一 〇・七〇 同所五二平民 香川總吉組
一 〇・七〇 同所一二八平民 高松常太郎組
二 二・五〇 同村大字戸谷二三平民 前田愛次組
二 一・五〇 同所一六五平民 岸惠助組
四 三・五〇 同所二八六五平民 西川米太郎組
三 三・〇〇 同村大字耕田四五六八平民 栗栖登市組
二 二・三〇 同所二〇五平民 松岡巳次組
三 二・三〇 同所一二平民 細川柳兵衛組
二 一・五〇 同村大字長從三七平民 藤田幸太郎組
二 一・一〇 同所八九平民 玉田關太郎組
寺田惠助組
島根縣飯石郡頓原村有志代表者
三八、一一、四 五、七六一 梅干 一五、五〇貫 一〇・八一五 同村大字頓原町平民 山崎嘉三郎 古家喜代太郎
同一〇、一六 五、七六四 草鞋 四二〇足 二一・〇〇 福井縣大野郡阪谷村大字遊三一平民 藤堂作馬
三七、一一、一四 五、八〇九 毛布 三、四九五枚 四、二〇九・四六 千葉縣香取郡有志總代 香取郡長 吉本健吉
内譯
一 一・八〇 同郡瑞穂村西和田七〇〇平民 小林昇治郎
二 二・九〇 同所六九九平民 一鐵田金治郎
一 一・二〇 同所四九平民 一鐵田ちか
一 〇・八〇 同所五五平民 加瀬源藏
一 〇・八〇 同所七〇六平民 小林龜治郎
一 〇・八七 同村寺内四二五平民 椿利三郎
一 一・五〇 同所四二六平民 椿辰之助
一 一・〇〇 同所三八一平民 大野[illegible]吉
二 一・五〇 同所三〇二平民 掲崎寅松
一 〇・六〇 同所二五七平民 椿伊三郎

一 〇・五九 同所三七七平民 掲崎官治郎
一 一・五〇 同所四三七平民 水室辰之助
一 一・二〇 同村掲崎八六五平民 秋葉卯之助
一 一・八〇 同所八七九平民 掲崎保藏
一 一・三〇 同所八七六平民 大錄與吉
一 一・〇〇 同所八六二平民 明石熊治郎
一 二・〇〇 同村堀ノ内二〇七〇平民 木内藤之助
一 一・〇〇 同所一九八九平民 木内磯太郎
一 一・二〇 同所二〇三九平民 木内文助
一 一・〇〇 同所一九六四平民 木内初太郎
一 一・六〇 同所一九五四平民 木内與惣兵衛
一 一・二〇 同所一九五一平民 木内三郎右衛門
一 一・五〇 同所二〇七八平民 木内喜太郎
一 一・〇〇 同所二〇三四平民 坂本治郎兵衛
一 〇・五〇 同所一七三三平民 高橋文右衛門
一 一・〇〇 同所一六七二平民 高木幸作
一 一・三〇 同所一六八一平民 高木丑松
一 一・〇〇 同所三二一〇平民 成毛寅松
一 一・三〇 同所三一九四平民 木内幸太郎
一 〇・九〇 同所一九二六平民 木内惣七
一 一・五〇 同所二〇七五平民 木内助治
一 一・〇〇 同村西部田一一七三平民 米本虎五郎
一 一・八〇 同所一九三平民 齊藤房吉
一 一・八〇 同所一二〇五平民 齊藤卯之助
一 〇・八〇 同所一二〇一平民 齊藤利右衛門
一 二・五〇 同所一二〇〇七平民 齊藤三部郎
一 一・〇〇 同所一二四〇平民 齊藤宗平
一 一・五〇 同所一〇一七平民 大竹房藏
一 一・五〇 同村谷中一〇一四平民 根本太左衛門
一 一・五〇 同所一〇一六平民 阿部寅松
一 一・五〇 同所一〇二三平民 郡司鐵作
一 〇・五〇 同所九八一平民 永長牛右衛門
一 〇・八〇 同所九七八平民 坂本與治右衛門
一 二・〇〇 同所九七六平民 小林慶之助
一 一・〇〇 同所五九二平民 椎名縫之助
一 一・〇〇 同所六一八平民 久保木米藏
一 一・二〇 同所四二平民 廣瀬辰五郎
一 一・〇〇 同所九九平民 吉田一之助
一 一・三〇 同所一〇二〇平民 坂本辰之助
一 〇・八〇 同所八五三平民 小林銀治郎
一 一・五〇 同所一〇一二平民 仲村林作
一 〇・五〇 同所九八九平民 伊藤寅之助
一 一・八〇 同所一〇三六平民 小林震一郎
一 一・八〇 同所一〇二四平民 小林萬吉
一 一・五〇 同所六五六平民 高柴榮太郎
一 一・五〇 同所九九四平民 久保木庄之助
二 二・〇〇 同所九八六平民 藤澤甚右衛門
二 一・五〇 同郡同村 西阪區中
一 一・二〇 同郡神崎町神崎本宿二一四六平民 安邉タケ
一 二・五〇 同所一九四七平民 加田安治郎
一 一・二〇 同所一九二三士族 森モト
一 二・五〇 同所一九四一平民 神山保太郎
二 二・五〇 同所一九四八平民 坂本晋三
一 一・二〇 同所一九五三平民 山田利兵衛
一 一・二〇 同所七四平民 南井長左衛門
一 一・二〇 同郡同町九五二平民 濱町
一 一・二〇 同所二〇四六平民 今井長右衛門
一 七・二〇 同所二〇六平民 池上ハル
一 一・二〇 同所二〇三五平民 石川喜平
一 一・二〇 同所二〇八五平民 木内力藏
二 二・五〇 同所二〇一二平民 鈴木常次郎
一 一・二〇 同所二〇七〇平民 木村信太郎
二 三・七〇 同所一九一〇平民 日東寺政男
一 一・二〇 同郡同町神崎神宿二 日東寺子之助
二 三・七〇 同所一九一六平民 大塚智三郎
一 一・二〇 同郡同町小松二九八 岡野島之助
一 一・一〇 同所六六〇平民 岡野美喜太郎
一 一・二〇 同町並木八六六一平民 登島一夫
一 一・二〇 同所七二五平民 大竹喜右衛門
一 一・二〇 同所八六平民 岡野佐野右衛門
一 一・二〇 同所七三八平民 山城岩松
一 一・二〇 同所六〇三平民 石橋豐太郎
一 一・二〇 同所六六二平民 椿保治
一 一・二〇 同所六〇一平民 酒井子之助
一 一・二〇 同所六七八平民 仲野長次郎
一 一・二〇 同所六七六平民 石井好松
一 一・二〇 同所六三五平民 石橋金太郎
一 一・二〇 同所六平民 仲野タカ
一 一・二〇 同所四平民 宮本榮輔
一 一・二〇 同所三〇平民 飯島岩吉
一 一・二〇 同所七平民 飯島新一
一 一・二〇 同所三八平民 磯邊能藏
一 一・二〇 同所三三平民 磯邊長重郎
一 一・二〇 同所三四平民 飯島治郎吉
一 一・二〇 同所二〇平民 石井吉太郎
一 一・二〇 同所三一平民 野口龜重郎
一 一・二〇 同町高谷三九二平民 山口熊次郎
一 一・二〇 同所三二平民 塚本勝次郎
一 一・二〇 同所三二一平民 郡司仲次郎
一 一・二〇 同郡木大須賀村久井崎二一五平民 郡司武輔
一 一・二〇 同所三一六平民 椎塚巳之助
二 二・四〇 同所二一七平民 石橋龍二
一 一・一〇 同所二八〇平民 成毛左一郎
一 〇・八〇 同所三一二平民 石橋淺吉
一 一・一〇 同所三二〇平民 藤田兵右衛門
一 〇・八〇 同所二一平民 石橋昇藏
一 一・一〇 同村中野六五平民 堀越才助
一 一・一〇 同所一四七平民 椎名幸太郎

一 一・三〇 同所一〇二平民 堀越紋治郎
一 〇・九〇 同所一四〇平民 飯塚秀太郎
一 一・二〇 同村松子六三四平民 山倉寅治郎
一 一・二〇 同所四四〇平民 宮野長作外二人
一 〇・六〇 同所七三〇平民 石橋浦之助外二人
一 〇・七〇 同所四三六平民 宮野常吉外二人
一 一・三〇 同所六四一平民 宮野倉吉外二人
一 〇・七〇 同村臼作三一五平民 葛生岩治郎
一 〇・五〇 同所三〇六平民 葛生省
一 一・五〇 同所二六五平民 葛生多一郎
一 一・〇〇 同村前林一三〇七平民 小堀文吉
一 〇・五〇 同所一三五八平民 香取熊吉
一 一・二〇 同所六四二平民 飯島芳太郎
一 一・七〇 同所六四〇平民 川島宇平
一 一・〇〇 同所一二〇〇平民 飯笹巳之助
一 〇・七五 同所一一九九平民 高橋宇之助
一 〇・七五 同所六三八平民 飯島源兵衛
一 一・〇〇 同所三一六平民 大竹發太郎
一 〇・六〇 同所六二三平民 大竹岸太郎
一 一・〇〇 同所五五七平民 椎名藤治郎外一人
一 〇・九〇 同所六一三平民 椎名米吉外一人
一 一・二〇 同村一坪田五一八平民 荻原傳次郎
一 〇・八〇 同所一七六平民 荻原市太郎
一 一・〇〇 同所五二一平民 荻原常吉
一 一・〇〇 同所一六九平民 石井繁藏
一 〇・五〇 同所五四七平民 石井茂三郎
一 一・〇〇 同所五三三平民 北崎幸七
一 一・六〇 同所五一四平民 北崎源兵衛
一 一・一〇 同村新田七二平民 諸岡寅松
一 一・〇〇 同所三一六平民 飯田常吉
一 一・一〇 同所三〇八平民 青柳甚之助
一 一・一〇 同村津富浦二六七平民 葛生儀平
一 一・六〇 同所二七八平民 葛生國松
一 一・二〇 同所二八六平民 葛生治三郎
一 〇・九〇 同所一〇五二平民 飯島好作
一 〇・八〇 同所二〇四平民 戸田與茂吉
一 一・二〇 同所四一〇平民 戸田寅吉
一 〇・八〇 同所四〇九平民 久古周作
一 一・〇〇 同所二一九平民 松森榮作
一 一・一〇 同所四〇五平民 相馬百太郎
一 〇・七〇 同所四四四平民 長瀧藏平
一 一・〇〇 同所一一〇一平民 長瀧春治
一 〇・九〇 同所一一〇二平民 長瀧寅之助
一 〇・七〇 同所一二五〇平民 長瀧寅太郎
一 〇・七〇 同所一一三五平民 稻葉丈助
一 一・二〇 同所五一七平民 山倉梅太郎
一 一・一〇 同所五九一平民 久古佐市
一 一・〇〇 同村吉岡一四平民 山出徳太郎
一 〇・五〇 同所二一平民 宮崎萬作
一 〇・六〇 同所一〇九平民 飯田忠平
一 〇・七〇 同所四六平民 長竹初太郎
一 〇・七〇 同所一〇七平民 寺本松之助
一 〇・五〇 同所一〇五平民 小林敬作
一 〇・七〇 同村稻荷山一六九平民 藤崎榮助
一 〇・七五 同所二〇〇平民 堀越角太郎
一 〇・六五 同所一九〇平民 堀越松之助
二 三・五〇 同郡滑河町爽須賀七一平民 櫻井久太郎
二 三・五〇 同所一七七六平民 櫻井直藏
二 三・〇〇 同所三四〇〇平民 高橋竹治郎
一 二・〇〇 同所三四一〇平民 高橋隆之助
一 一・〇〇 同所一二七二平民 木内永三郎
二 二・〇〇 同所一九一三平民 岩舘三郎右衛門
一 一・〇〇 同所一八八平民 堀川定吉
一 一・〇〇 同所二三五一平民 吉田與次兵衛
一 〇・七〇 同町滑川一〇九七平民 木村初太郎
一 二・〇〇 同所一〇五九平民 富澤道太郎
一 一・〇〇 同所一〇七七平民 小川仲次郎
一 一・〇〇 同所一一四〇平民 根本太一
一 〇・七〇 同町滑川 龍正院
一 〇・三〇 同所一二一五平民 青柳主膳
一 一・五〇 同町穂山五二九平民 小笹清治郎
一 三・〇〇 同所四六〇平民 日暮治郎兵衛
一 一・〇〇 同所四四九平民 椿健太郎
一 一・〇〇 同所四五〇平民 小笹萬之助
一 一・〇〇 同所四七平民 大竹巳之助
二 三・〇〇 同所七四平民 大竹勢太郎
一 一・〇〇 同所五四五平民 椎名喜太郎
一 四・〇〇 同所一〇三二平民 椿助次郎
一 一・五〇 同町太當一八〇平民 野平庫次郎
一 一・五〇 同所三七五平民 岩立修平
二 二・八〇 同郡小見川町羽根川七八平民
一 一・五〇 同所八四平民 平山藤右衛門
一 一・四〇 同所一三五平民 菅澤登一郎
一 一・〇〇 同所一九一平民 平山利兵衛
一 〇・五〇 同所一〇三平民 大阪萬藏
一 一・五〇 同所二四三平民 鎌形源太郎
一 一・二〇 同所二〇三平民 平山保五郎
大阪三藏
三 三・七〇 同町 羽根川區一同
一 一・〇〇 同町小見川三五四平民 高橋音治郎
一 一・八〇 同町下小川一四四三平民 木村長太郎
二 三・〇〇 同町小見川二三七平民 井浦黄治郎

一 一・五〇 同所三六〇平民 小堤子之助
一 一・〇〇 同所三五八平民 小林巳之助
一 一・五〇 同所二五九平民 松澤竹治郎
二 一・〇〇 同所二四六平民 香取巳治郎
一 一・八〇 同所三五〇平民 桑原利喜藏
一 二・〇〇 同所五〇一平民 八角芳兵衛
二 二・〇〇 同所三六〇平民 小堤藤兵衛
二 四・〇〇 同所三九一平民 成毛茂之助
三 三・五〇 同所三三三平民 鵜島兒太郎
一 一・〇〇 同所三六一平民 篠塚卯治郎
一 一・五〇 同所三五四平民 櫻井兵助
二 四・〇〇 同所三三六平民 篠塚惣治郎
一 一・〇〇 同所三一一平民 猿田大藏
一 一・二〇 同所二三二平民 香取國松
一 一・五〇 同所二三四平民 仁木松太郎
一 一・〇〇 同所二九二平民 篠塚左兵衛
一 一・二〇 同所二四〇平民 小堤タニ
四 四・〇〇 同所二四八平民 青野勝藏
一 一・二〇 同所二四五平民 木内政平
一 一・〇〇 同所三六四平民 高崎久兵衛
一 一・二〇 同所五八一平民 吉田米治郎
一 一・五〇 同所五七五平民 元木治兵衛
四 四・〇〇 同所五八一平民 渡邉儀助
一 一・六〇 同所五七六平民 小林巳之助
一 一・五〇 同所六二一平民 八角小四郎
一 一・二〇 同所五七四平民 小幡幸助
一 一・五〇 同所六五〇平民 原野小三郎
一 一・八〇 同所五七九平民 平山芳藏
二 二・〇〇 同所六〇〇平民 渡邉啓八
一 一・〇〇 同所五一一平民 小林政平
一 一・〇〇 同所六一一平民 八角惣兵衛
一 一・〇〇 同所五一六平民 寺島清造
一 一・五〇 同所五七八平民 篠塚兵助
一 一・八〇 同所五七一平民 猿田芳三郎
一 二・〇〇 同所三二一平民 成毛留三郎
一 一・八〇 同所三九七平民 高寺佐兵衛
二 一・二〇 同所五二二平民 寶川兼治郎
一 一・二〇 同所五五〇平民 小林松之助
一 一・五〇 同所五五三平民 石川定平
二 三・二〇 同所二五六平民 成毛力之助
一 一・五〇 同所二八六平民 宮崎覺之助
一 一・二〇 同所二八六平民 飯島善助
一 一・五〇 同所二五六平民 小林年松
一 一・五〇 同所二八九平民 三宅友吉
五 二・五〇 同町川端町 川端町一同
二 三・〇〇 同町野田一九三九平民 増田義夫
二 三・〇〇 同所七一平民 増田美代三郎
二 三・〇〇 同所八八三平民 朝日龍三郎
一 一・五〇 同所一九二〇平民 七五三傳七
一 一・五〇 同所一九三七平民 伊藤庄右衛門
一 一・七〇 同所一九三八平民 増田嘉七
一 一・五〇 同所一九二九平民 鈴木仲治
一 一・二〇 同所一九三六平民 鈴木秀太郎外一人
一 一・三〇 同所一九二八平民 小堀卯之助
二 二・三〇 同所一九一三平民 千葉音松外一人
一 一・五〇 同所一九二七平民 鈴木清右衛門
一 一・八〇 同所五平民 石橋藤樹
一 一・五〇 同所九平民 高橋嘉之吉
一 一・五〇 同所一九四九平民 石橋重助
一 一・八〇 同所六九四八平民 石橋惣藏
一 一・七〇 同所一一九五〇平民 石橋市太郎
一 一・六〇 同所一四八平民 高木安太郎
一 一・四〇 同所七二平民 增田龜太郎
一 二・三〇 同所一九一六平民 石橋萬吉外一人
一 一・二〇 同所一九〇六平民 鈴木源藏外二人
二 二・二〇 同所一九二四平民 鈴木文右衛門外四人
二 二・〇〇 同所八平民 飯田琴治郎外一人
一 一・五〇 同町上小見川二〇〇平民 内藤初太郎
一 三・〇〇 同所一六一平民 本多東麟
一 一・三〇 同所一三四平民 寶川虎之助
一 一・二〇 同所一一三平民 岡野熊太郎
一 一・三〇 同所一二七平民 堀川松五郎
一 一・五〇 同所一二六平民 木村倉吉
一 一・〇〇 同所一三二平民 篠塚清治郎
二 三・六〇 同所二四三平民 岡野信治郎外七人
一 一・二〇 同所二八平民 椎名安治郎
一 一・五〇 同所三七平民 花垣百助
一 一・六〇 同所六〇三平民 丸山庄助
一 一・二〇 同所三八八平民 高安喜六
一 一・五〇 同所四七平民 大川佐七
一 一・二〇 同所五四平民 原野清治郎
三 五・八〇 同所三二平民 猿田佐兵衛
一 一・五〇 同所五八八平民 前田椎太郎
一 一・八〇 同町小見川二九四平民 高木伊之助
二 三・二〇 同所三一五平民 岩井孝之助
二 三・〇〇 同所三〇三平民 寶川兵吉
一 一・五〇 同所三五五平民 梅澤ヨシ
一 一・六〇 同所三〇一平民 内山安太郎
一 一・五〇 同所三一四平民 八木菅助
一 一・二〇 同所三二六平民 加藤啓之助
一 一・五〇 同所二九五平民 山中鉄之助
一 一・五〇 同所三二六平民 篠塚タネ
一 一・六〇 同所三〇二平民 根本萬太郎
二 二・〇〇 同所三一九平民 大川治兵衛外一人
一 一・五〇 同所三五三平民 小堤道之助
一 一・二〇 同所二九八平民 小野直治郎
一 二・〇〇 同所三三六平民 坂本直藏外五人

官報 第6883号 明治39年6月11日

許可　第六八八三号　六月十一日

官報 6883 号 附録

非売品

許可　6883　官報・書籍・雑誌